

業 務 概 要

—令和7年度のまとめ—

京都府立京都学・歴彩館

項 目		頁
1	京都学・歴彩館について	1
2	利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)	2
	利用者等の状況	2
	館蔵資料の収集・所蔵状況	3
3	京都学研究推進の主な取組	3
	京都学推進課の10年	3
	海外若手研究員受入事業	6
	京都学デジタル資料閲覧	6
	文化資源発掘プロジェクトによる共同研究	7
4	展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組	9
5	大・小ホール、学習室について	18
6	京都資料総合閲覧室の利用状況	19
7	館蔵資料等の撮影と複写	26
8	資料の貸与	26
9	図書館間相互貸出	29
10	共催事業等	29
11	資料の収集・整理・保存	32
	図書資料	32
	行政文書	36
	文書の保存と複製資料の作成	36
	管理委託現物資料	37
12	調査	38
	行政文書	38
13	京都府行政文書修理事業	38
14	図書館実習・インターンシップ	38
15	新聞掲載等	38
16	ウェブ提供サービスのまとめ	39
17	施設の状況	42
18	組織・職員数・業務分担・予算	42
19	令和7年度の主な活動	44
20	沿革	46
	参考資料	51

1 京都学・歴彩館について

○「京都学・歴彩館」とは

京都府立京都学・歴彩館（以下、「京都学・歴彩館」という。）は府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供するとともに、京都に関する資料等を収集して、保存し、さらに公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため設置された。京都は日本文化のふるさとであり、京都に関する歴史・文化の研究は、日本文化全体と大きく繋がっている。京都学・歴彩館では、京都や京都との関わりの中で成立・発展してきた特色を研究していくことを京都学ととらえ、これを推進・発信することで京都文化のさらなる発展を目指すことを目標としている。

「京都学・歴彩館」の名称については、新たな機能である京都文化の研究推進を「京都学」に込めている。そして、「順を追っていく」、「代々にわたる」といった意味を持つ「歴」と、色どりの美しさを表す「彩」により、文化や歴史の数々が時代を超えて輝きを放ち続け、次代へと受け継がれていくことを「歴彩」と表現している。

○京都学・歴彩館の建物について

建物は、京都府立大学の図書館や文学部研究室も同居する複合施設となっている。1階は交流フロアとして展示室や大小ホール、京都学ラウンジなどがあり、にぎわいと交流が生まれることを期待している。2階は探究フロアとして京都に関する各種資料や大学所蔵資料が閲覧できるよう約350席を設けた閲覧室があり、3・4階は府立大学文学部の研究室、演習室等が設置されている。

探究フロアの京都資料総合閲覧室にある図書資料は約2万冊で、京都の歴史・地理に関する資料や、京都府、府内市町村が発行した資料等を並べているほか、1階展示室で行う展示に関する「資料紹介コーナー」を設けるなど、館全体で一体となって交流・探究の場を提供している。

○京都学・歴彩館の取組等について

京都学・歴彩館の役割は三つあり、まず京都に関する図書資料、古文書、行政文書、写真資料等約91万点の保存・公開を進めることであり、さらに「京都の資料を京都で閲覧する」ために、京都所在の膨大な資料のデジタル閲覧を進めることである。二つ目は府内各地域の文化資源を発掘し、府内の大学・研究機関と連携しながら研究を深めること。三つ目は海外の研究者を招へいし、京都文化を研究してもらうこと。この三点を柱として交流・探究を進め、講演会やシンポジウムを通じて、「京都学」を発信していきたいと考えている。

また、令和2年度から一部指定管理者制度を導入しており、指定管理者主催・当館共催による講座・展示等の事業も実施している。

これからも京都学・歴彩館の場所・人・資料などの資源を用いて府民の方へ様々な形で発信していきたい。そして、府民の皆さんが資料を手に取り、研究や調査を進め、その成果を発表したり、交流したりすることが出来る拠点としていきたいと考えている。

京都府立京都学・歴彩館 館長 金田章裕

2 利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)

(1) 利用者等の状況

○1階(交流フロア)、2階(探究フロア)の利用者数等について

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
展示室	14,349人	出納件数	8,054件
京都学ラウンジ	6,204人	書庫の図書資料	7,044件
学習室	63,280人	古文書等	405件
大ホール	27,446人	行政文書	580件
小ホール	13,494人	写真資料	0件
2階 探究フロア (府立大附属図書館含む)	127,855人	近代文学資料	25件
その他	6,094人	相談件数	7,981件
合計	258,722人	資料の使用※ (管理委託現物資料含む)	45件 118点
		資料の利用※ (管理委託現物資料含む)	134件 421件
		資料の複写	6,356件 111,765枚
開館日数	329日 ※2階：325日	資料の館外貸与 (管理委託現物資料含む)	27件 209点(冊)
一日平均利用者数	786人		

※「資料の使用」

管理規程及び複写等により入手したものを利用者が活用する場合

(利用規程：資料特別閲覧複写申請書、複写申込書、自写申請書)

※「資料の利用」

上記以外の利用規程、行政文書取扱規程及び閲覧、複写したものを活用する等の利用者が行う行為全般の場合

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		令和7年度受払状況							累計 (令和8年 3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換移 管引渡等	計			
図書資料	図書資料	757	4,039	793	-	5,589	67	5,522	423,875冊
	西山文庫資料※ ¹		-	-	-	-	-	-	19,143点
	その他※ ²	-	-	-	-	-	-	-	1,728点
	小 計	757	4,039	793	-	5,589	67	5,522	444,746(点)
文書資料	古文書	-	3,045	-	-	3,045	-	3,045	147,968点
	行政文書	-	-	-	2,597	2,597	-	2,597	107,338点
	写真資料	-	-	-	-	-	-	-	134,094点
	近代文学資料	-	-	-	-	-	-	-	26,881点
	その他※ ³	-	-	-	-	-	-	-	256点
	小 計	0	3,045	0	2,597	5,642	0	5,642	416,537点
※ ⁴ 管理委託 現物資料	美術工芸資料	-	73	-	-	73	-	73	11,793点
	歴史民俗資料	-	6	-	-	6	-	6	20,089点
	その他※ ⁵	-	-	-	-	-	-	-	23,705点
	小 計	0	79	0	0	79	0	79	55,587点
合 計		757	7,163	793	2,597	11,310	67	11,243	916,870冊(点)

※¹ 西山卯三氏(1911-1994、京都大学名誉教授)の作成した資料の保管をしているNPO法人西山卯三記念すまい・まちづくり文庫から、寄贈を受けた住宅に関する研究資料や自筆の図面であり、図書とは別の目録データにより管理している。

※² 版木ほか。

※³ 京都府旧公印ほか。

※⁴ 京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料(管理委託現物資料の一部は、中京区の京都府施設に収蔵)。

※⁵ 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

上記に加え、京都関係パンフレット234冊をKパンフレットとして簡易整理し、総数3,532冊を「歴史資料アーカイブ」京都関係雑誌記事論文と共に検索できるようにしました。

3 京都学研究推進の主な取組

(1) 京都学推進課の10年

京都学・歴彩館は、旧京都府立総合資料館が新たな現施設へと移転して、新たな名称とともに再発足した。その際、旧資料館から業務を継承した企画総務課と資料課に加え、新たに京都学推進課が設置された。同課が本年(令和8年)11月に10年の活動期間を経ることになるに際し、その業務や事業の動向を振り返っておきたい。

京都学推進課の主要業務は、「京都の資料を京都で閲覧する」プロジェクトの京都学デジタル資料閲覧コーナーの管理、「京都の文化資源」共同研究プロジェクトの推進、研究講演会の開催、京都学ラウンジの運営、海外若手研究員の招聘と研究補助、などである。

「京都の資料を京都で閲覧する」プロジェクトは現在、陽明文庫資料(約50,000コマ)、賀茂別

雷神社資料(約23,000コマ)が閲覧対象である。資料所蔵の両施設のほか、東京大学史料編纂所等のデジタル撮影実施機関との提携によって可能になった企画である。

「京都の文化資源」共同研究プロジェクトは第一期計10回(10年)が完了した。毎回、京都府内の大学・研究機関所属の研究者10名前後との共同研究会を主宰し、計10冊の研究報告書(京都学・歴彩館刊)を刊行した。さらに報告書掲載の論文を基に一般書用に書き下ろして、それぞれ『京都を学ぶ(地域編)』シリーズ(計10冊、京都学研究会編、ナカニシヤ出版)として出版し、さらにその翌年度には執筆研究者に講演をしていただいた。本年からはその第二期の新プロジェクト(テーマ編)を開始している。

「海外若手研究員の招聘」プロジェクトは、協定を結んだ機関(セインズベリ-日本藝術研究所〈英国〉・フランス高等研究実習院〈仏国〉・南カリフォルニア大〈米国〉・国立台湾大・京都府立大・京都大・東京大)から推薦いただいた候補者について、外部有識者の評価・意見を踏まえて京都学・歴彩館に設置した選考会議で審査している。受入研究員は京都学・歴彩館の研究室を中心に活動するが、京都府立大の共同研究員として、府立大はもとより各地の施設利用が可能である。第1表のように、2017年度の4名からスタートし、2025年度までに計17名を受け入れた。ただし、2020年度の決定者のうち2名はコロナ禍で招聘できず、1名の受入も2022年度となった。各研究員には『京都学・歴彩館紀要』に論文を投稿すること、および帰国前に府民向けセミナーの講師を務めることを受入条件としている。

研究講演会については、京都学・歴彩館全体で昨年度は107回(共催も含む)の講演会を開催してきたが、その内68回が京都学推進課関係の開催であった。

京都学推進課は、課長を含めて8名の職員で以上の業務を中心に分担しているが、その内の5名は京都学推進研究員として採用された新進の研究者(古代史・中世史・近世史・近代史・建築史ないし地理学〈文化的景観〉)であり、現在はこの研究員と別に、京都学特任研究員1名(科研費担当)が加わっている。

京都学推進研究員は第2表のように現在の5名以前、計12名が在籍して上記の業務にあたった。共同研究プロジェクトではコーディネーターを務めるほか、交替で各回2~3名が研究者として文化資源共同研究に参加した。この12名はすでに各地の大学をはじめ研究機関に移籍し、准教授・講師・助教・研究員などとして活躍している。京都学推進研究員に関わるこの方針を今後も継続し、有能な研究者へと成長することを期待したい。

すでに第二期に入った共同研究プロジェクトや、2026年度の若手外国人研究者の招聘が決定しており、京都学ラウンジミニ講座を含む研究講演会の開催や、京都の資料のデジタル閲覧対象の増加を目指すことを含めて、一層の京都学推進を目指したい。

(金田章裕)

第1表 海外若手研究員

受入年度／氏名	推薦機関	出身国・地域	その後の所属・職名
(2017年度)			
楊洋	京都大	中国	中山大学歴史学科 准教授
黄馨儀	台湾大	台湾	天理大学国際学部中国語学科 准教授
林琪禎	台湾大	台湾	莆田学院外国語学院 教授(中国福建省)
ラドウ・レカ	セインズベリー	ルーマニア	香港浸会大学視覚芸術院・創意芸術学院 助教
(2018年度)			
ダン・シアー	南カリフォルニア大	アメリカ	エルサレム・ヘブライ大学人文科学部アジア学科 講師
ルーク・エジントン＝ブラウン	セインズベリー	イギリス	英国セインズベリー日本藝術研究所 准研究員
朴漢珉	京都府立大	韓国	韓国東北アジア歴史財団 研究委員
サラ・バレットドシア	高等研究実習院	フランス	パリディドロ(第七)大学 非常勤講師
(2019年度)			
クリストファー・ヘイズ	セインズベリー	イギリス	チェスター大学イベントマネジメント・観光・マーケティング学科 上級講師
郭珮君	台湾大	台湾	台湾大学歴史学科 助教
(2020年度)			
パベル・スミルノフ	東京大	ロシア	
※その他受入決定済2名はコロナ禍のため招聘見送り			
(2021年度)			
※コロナ禍で引き続き招聘できず			
(2022年度)			
マティアス・ハイエク	高等研究実習院	フランス	フランス高等研究実習院宗教学部門教授
(2023年度)			
クリオ・シモネッタ	高等研究実習院	イタリア	フランス高等研究実習院東アジア文明研究センター研究員
エミリー・ウォレン	南カリフォルニア大	アメリカ	南カリフォルニア大学 研究員
(2024年度)			
マルタン・ノゲラ・ラモス	高等研究実習院	フランス	フランス国立極東学院 准教授
ハン・ジヘ	セインズベリー	韓国	早稲田大学グローバル・エデュケーション・センター 助教
(2025年度)			
マッティア・デッロスペダレヴェンティ	京都府立大	イタリア	ナポリ東洋大学アジア研究センター研究員

第2表 京都学推進研究員

氏名	分野	在籍期間	転出先
川口朋子	近代	2013. 6～2019. 3	同志社大学文学部文化史学科 准教授
寺嶋一根	近世	2017. 4～2021. 3	佛教大学歴史学部歴史学科 講師
大邑潤三	近代	2017. 2～2018. 3	東京大学地震研究所 助教
山田淳平	近世	2017. 7～2018. 3	奈良県文化財課 主査
的場美帆	近世	2017. 7～2018. 3	奈良女子大学 博士研究員
吉岡直人	古代	2017. 7～2023. 3	四国大学文学部日本文学科 講師
川口成人	中世	2018. 7～2022. 3	(独法) 日本学術振興会 特別研究員 (PD)
杉本弘幸	近代	2019. 4～2026. 3	佛教大学歴史学部歴史学科 特任准教授
中西大輔	建築	2020. 4～2025. 3	京都美術工芸大学建築学部建築学科 講師
松浦智博	近世	2021. 4～2024. 3	(公財) 三井文庫 社会経済史研究室 研究員
今村凌	古代	2023. 4～2025. 3	宮内庁書陵部編修課皇室制度調査室 研究官
田坪賢人	近世	2024. 4～2026. 3	堺市文化観光局歴史遺産活用部文化財課 学芸員
林奈緒子	中世	2022. 7～	
原田華乃	古代	2025. 4～	
三好志尚	文化的景観	2025. 8～	
杉志努布	近代	2026. 4～	
安永寛	近世	2026. 4～	

(2) 海外若手研究員受入事業

当館と覚書を締結した国内外の日本文化研究機関から推薦された優秀な外国人若手研究者を選考の上、「京都学研究員」として招へいし、研究支援を行いました。

京都学研究員には、受入期間中、京都研究・日本研究に従事いただくとともに、「府民向けセミナー」においてその研究成果を発表いただきました。

覚書締結機関：計7(海外4・国内3)機関

- ・セインズベリー日本藝術研究所(イギリス)
- ・国立高等研究実習院(フランス)
- ・国立台湾大学文学院日本研究センター(台湾)
- ・南カリフォルニア大学(アメリカ)
- ・京都大学大学院文学研究科
- ・東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- ・京都府立大学

京都学研究員(令和7年度)

氏名(敬称略)	国・地域	専 門	研究テーマ	受入期間
マッティア・デッロス・ペダレヴェンティ	イタリア	国際関係、日本外交史、日本の自治体外交	京都都市外交と世界歴史都市連盟 -歴史とその成果	令和7年 7月1日～ 12月23日

(3) 京都学デジタル資料閲覧

当館では、平成29年2月5日に締結した公益財団法人陽明文庫及び東京大学史料編纂所との覚書に基づき、公益財団法人陽明文庫の協力により東京大学史料編纂所が作成した、陽明文庫が

所蔵する近衛家伝来資料のデジタル画像約5万点の公開を平成29年4月27日から開始しました。

また、賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開に関する覚書を令和3年5月13日に賀茂別雷神社と締結し、緊急事態宣言解除後の同年6月1日から試行的に一部資料(985点、3,556コマ)の閲覧供用を開始しました。

デジタル閲覧資料について、その後も、追加登録作業を行っており、現在、約7万コマの閲覧が可能です。

令和7年度閲覧利用の実績

閲覧利用延人数	53人
閲覧利用資料数	10,184件
閲覧ページ数	13,650ページ

(備考：令和7年4月1日～令和8年3月31日実績)

(4) 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究

府内大学・研究機関との連携及び京都府域の文化資源発掘を目指し「京都府立京都学・歴史館」プレ事業として平成27年度から開始した「文化資源発掘プロジェクト」では、第一段階の取組として「洛北の文化資源」にスポットをあて、府内大学・研究機関の研究者とともに研究会を発足し、共同研究に取り組みました。その後、引き続き府内各地域の文化資源を掘り起こし、その魅力を紹介する共同研究を推進しています。

当プロジェクトは、初年度に共同研究会を発足して研究を進め、2年目に共同研究会報告書を取りまとめるとともにその成果をもとにした一般書籍を刊行、3年目には各研究者に研究成果を発表いただくセミナーを連続シリーズで開催しています。

令和7年度においては、『京都を学ぶ【洛南編】』（令和6年度刊行）の内容を府民にわかりやすくお伝えする「京都を学ぶセミナー【洛南編】」を開催するとともに、「洛中の文化資源」共同研究会(令和6年度発足)の報告書を取りまとめ、『京都を学ぶ【洛中編】』を令和8年3月に刊行しました。「洛中編」をもって第一期が完結することから、第二期となる「テーマ編」を起こし、その第一弾として「京都府の文化的景観」共同研究会を発足し、研究活動を開始しています。

洛南の文化資源共同研究参加メンバー(令和5～7年度)

(五十音順 敬称略 肩書は令和5年度時 テーマは研究報告書タイトル)

小池 寛	京都府埋蔵文化財調査研究センター
	考古学からみた洛南地域の遠隔地地域間交流
中谷 正和	京都市埋蔵文化財研究所
	京都盆地南西部の旧河道について
東 昇	京都府立大学文学部 教授
	近世築山・吉祥院村の神主と御所・公家・大名・村
平井 俊行	八幡市立松花堂庭園・美術館
	近代松花堂移転時期・経緯の再検討
藤本 仁文 竹中友里代	京都府立大学文学部 准教授
	京都府立大学文学部 特任講師
	石清水八幡宮の神仏分離と行教信仰
吉永 隆記	京都精華大学国際文化学部 特任講師
	洛南地域における久我家領の変容と地域社会

杉本 弘幸	京都府立京都学・歴彩館
	第一回男子普通選挙における既成政党支持基盤の変容-京都第二区における政友会長田桃蔵を中心に-
林 奈緒子	京都府立京都学・歴彩館
	近世石清水放生会の再興と公家

洛中の文化資源共同研究参加メンバー(令和6～8年度)

(五十音順 敬称略 肩書は令和6年度時 テーマは研究報告書タイトル)

田中 聡	立命館大学文学部 教授
	『釜座家持伝来記』による近世釜座町の住民構成の検討
福井 亘	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
	洛中における鳥から見た生物多様性
藤本 仁文	京都府立大学文学部 准教授
	近世中後期における京都下京の町組・惣町自治
松吉 祐希	京都市埋蔵文化財研究所
	洛中を囲う御土居の構造
美川 圭	立命館大学文学部 教授
	院政期の洛中と洛外-再開発と戦乱-
山村 亜希	京都大学大学院地球環境学堂 教授
	近世内野の開発プロセスと西の寺町
今村 凌	京都府立京都学・歴彩館
	調邸から「京庫」へ-平安京における保管施設変遷試論-
中西 大輔	京都府立京都学・歴彩館
	江戸時代京都の帳簿類にみる大工の賃金について

京都府の文化的景観共同研究参加メンバー(令和7～9年度)

(五十音順 敬称略 肩書は令和7年度時 テーマは契約時のもの)

上杉 和央	京都府立大学 教授
	京都府域の文化的景観の再発掘
河原 典史	立命館大学 教授
	京都府の文化的景観-京都市北山地区と宮津湾沿岸を中心に-
小山 元孝	福知山公立大学 教授
	丹後ちりめんと震災復興が生んだ景観と文化-京都府京丹後市-
清水 重敦	京都工芸繊維大学 教授
	京都府の文化的景観-意義の究明と活用方策-
鶴岡 典慶	京都女子大学 教授
	清水寺境内における近代以降の景観の変容について
平本 毅	京都府立大学 准教授
	京都錦市場はなぜ錦“市場”なのか
田坪 賢人	京都府立京都学・歴彩館
	近世京都における個別町の空間構造と景観
原田 華乃	京都府立京都学・歴彩館
	日本古代の祢宜と外位

4 展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組

◆ 展示

○ 企画展

期 間	名 称	場 所	入場者数
令和7年 4月12日(土)～ 6月8日(日) (4/29、5/3～5/6、 5/14は休館) [開場日数52日]	令和7年度春季企画展「Expo 1851→2025」 ・展示品:63点 ・附帯事業:京都学ラウンジミニ講座、 ギャラリートーク ・概要:2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) を記念して、吉田文庫や西山文庫を中心に、「世界 の万博」「近代日本の博覧会」「1970年大阪万博」を テーマとした博覧会関連資料を展示し、かつて世 界は日本をどのように見ていたか、日本は世界を どのように見ていたかという視点で国内外の博 覧会に対する理解を深め、大阪・関西万博への興 味関心をかき立て、多角的な理解を促す足がかり とする展示を開催。	1階 展示室	2,470人 (48人/日) 京都学ラウンジ ミニ講座 4/17:58人 4/24:49人 5/1:60人 ギャラリートーク 5/21:6人 5/29:10人
令和7年 7月12日(土)～ 9月7日(日) (7/21、8/11、8/13 は休館) [開場日数55日]	令和7年度京都府ミュージアムフォーラム合同展 覧会「カタチとモヨウ-デザインで楽しむミュー ジウム-」 ・共催:京都府ミュージアムフォーラム ・展示品:38点 ・附帯事業:出張体験教室 ・概要:丹後、丹波、山城地域の京都府ミュージ アムフォーラム加盟館の所蔵品でたどる展覧会。 本展では、「カタチとモヨウ」をテーマに、各ミ ュージアムがイチオシの逸品展を開催。		3,356人 (61人/日)
令和7年 9月13日(土)～ 11月9日(日) (9/15、9/23、10/8、 10/13、11/3は休 館) [開場日数53日]	きょうとまるごとお茶の博覧会事業「大阪・関西 万博記念お茶博-TEA from KYOTO-」 ・展示品:72点 ・附帯事業:シンポジウム、京都学ラウンジミニ 講座、ワークショップ ・概要:大阪・関西万博を契機に府内各地で展開 される『京都まるごとお茶の博覧会』に合わせ、 京都の茶文化を支えてきた茶人や茶商、府内各地 の茶産業の展開を伝え、京都を訪れる国内外の 人々の京都のお茶への理解促進をはかり、茶文化 への理解を深める。		3,080人 (58人/日) 京都学ラウンジ ミニ講座 10/2:69人 10/9:65人 10/16:54人 10/23:62人 10/30:68人
令和7年 11月15日(土)～ 12月7日(日) (11/23～24は休 館) [開場日数21日]	「京の鳥瞰図絵師吉田初三郎-没後70年によせて -」 ・展示品:84点 ・附帯事業:なし ・概要:当館所蔵の吉田初三郎作品の中から、 特に京都にまつわる作品を中心に展示		1,133人 (54人/日)

令和7年 12月13日(土)～ 12月27日(土) [開場日数15日]	「第八回府大生∞歴彩館コラボで探る京都学-京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩館所蔵古典籍・資料展-」 ・ 附帯事業: 学生による展示解説(国際文化交流学科、歴史学科)(成果発表) ・ 概要: 文学部の各学科が、それぞれの特色を活かしたテーマで歴彩館所蔵資料を展示・紹介。 日本・中国文化学科「日本語のアーカイブ」 国際文化交流学科「欧米人が見る京都の竹文化」 歴史学科「京都の戦争」成果発表 (「応仁・文明の乱と京近郊村落」、「「どんだん焼け」と洛中町人」、「陸軍第十六師団と京都」、「京都と戦死者」) ・ 展示解説集を配布。	1,070人 (71人/日) 展示解説 12/15(国際文化交流学科) : 20人 12/18(歴史学科): 33人
令和8年 1月17日(土)～ 3月8日(日) (2/11、2/23は 休館) [開場日数49日]	「京都府収蔵品にみる婚礼衣装の美」 ・ 展示品: 24点 ・ 附帯事業: ギャラリートーク ・ 概要: 京都府所蔵染織文化財から、日本の染織文化の華やかさと高貴さをかねそなえた婚礼衣装や関連資料を紹介	3,240人 (66人/日) ギャラリートーク 1/22: 24人 1/29: 25人 2/19: 17人
合計		14,394人

○ 常設展等

- ・ 1階京都学ラウンジ常設展示 吉田初三郎 「京都名所大鳥瞰図」

・ ホワイエ、光庭展示

期 間	場 所	作家・作品名等
令和7年2月12日(水) ～令和7年6月11日(水)	光庭2	横田朋子「春の夢、情熱と冷静」
令和7年6月11日(水) ～令和7年10月8日(水)	光庭2	近藤嘉晃「soil art」
令和7年10月8日(水) ～令和8年2月12日(木)	光庭2	多田裕「R、他」
令和8年2月12日(木) ～令和8年6月10日(水)	光庭2	半田哲生「八腕目鎖帷子/上洛」

・ 1階京都学ラウンジ パネル展示

期 間	名 称	協 力
令和7年3月27日(木) ～5月13日(火)	府大生による…探検！発見！歴彩館- コラボで探る京都学-(12)	京都府立大学文学部歴史学科
令和7年5月15日(木) ～6月30日(月)	京都府の文化財 ～令和6年度府指定・登録文化財～	京都府文化財保護課
令和7年7月1日(火) ～7月31日(木)	府大生による…探検！発見！歴彩館- コラボで探る京都学-(13)	京都府立大学文学部歴史学科

令和7年8月1日(金) ～8月31日(日)	京都出身者の沖縄戦	京都府立大学文学部歴史学科
令和7年9月1日(月) ～9月30日(火)	府立大学ACTR(地域貢献型特別研究)研究成果パネル展	京都府立大学京都地域未来創造センター
令和7年10月1日(水) ～10月31日(金)	発掘成果をふりかえって	京都市埋蔵文化財研究所
令和7年11月1日(土) ～11月28日(金)	府立植物園、次の100年創生に向けて	京都府立植物園
令和7年11月29日(土) ～12月25日(木)	古代のくらし-旧石器時代から古墳時代-	京都府埋蔵文化財調査研究センター
令和7年12月26日(金) ～令和8年2月1日(日)	わたしたちの鴨川を学ぶ	鴨川流域ネットワーク
令和8年2月2日(月) ～3月16日(月)	京の伝統芸能を担う人々	嵯峨大念佛狂言保存会
令和8年3月18日(水) ～3月25日(水)	第14回子ども読書本のしおりコンテストの作品展	京都府教育委員会、京都府図書館等連絡協議会
令和8年3月26日(木) ～5月12日(火)	未来へ紡ぐ深草の記憶	深草地域の文化「保存・継承・創造」プロジェクト実行委員会

・2階京都資料総合閲覧室前 パネル展示

期 間	コーナー名
令和7年9月1日(月) ～9月30日(火)	映画『西陣の姉妹』
令和8年3月18日(水) ～3月25日(水)	「第14回子ども読書本のしおりコンテストの作品展」 (主催：京都府教育委員会・京都府図書館等連絡協議会) ※京都学ラウンジと2カ所で開催

◆ 講座

○ 海外若手研究員受入事業府民向けセミナー

海外から招へいた日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催しました。

年月日	内容・発表者(敬称略)	参加者数
令和7年 12月16日(火)	マッティア・デッロスぺダレヴェンティ 「京都都市外交と世界歴史都市連盟-歴史とその成果」	46人 小ホール

○ 京都を学ぶセミナー「洛南編」

「洛南の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【洛南編】」を開催しました。

年月日	内 容・講 師(敬称略)	参加者数
令和7年 5月13日(火)	＜第1回＞ 講演 京都府埋蔵文化財調査研究センター 小池 寛 「陸路・船路が織りなす洛南八幡域の交流の考古学」	227人 大ホール

令和7年 6月4日(水)	<第2回> 講演 京都精華大学准教授 吉永 隆記 「久我家領のなかの久我庄」	208人 大ホール
令和7年 6月30日(月)	<第3回> 講演 京都府立大学教授 東 昇 「御所に勤める村の神主、非蔵人・村・公家の交流 -近世の築山村と吉祥院村-」	268人 大ホール
令和7年 9月24日(水)	<第4回> 講演 八幡市立松花堂庭園・美術館長 平井 俊行 「明治期の松花堂移転は本当に繰り返されたのか」	148人 大ホール
令和7年 10月21日(火)	<第5回> 講演 京都府立大学特任講師 竹中 友里代 「近世石清水八幡宮の神道思想 -神仏分離で救われた行教像・役行者像-」	241人 大ホール
令和7年 11月19日(水)	<第6回> 講演 京都市埋蔵文化財研究所 中谷 正和 「京都盆地南西部、淀周辺の旧河道について」	238人 大ホール

○ 国際研究集会

科学研究費・基盤研究(A)「東アジアにおける工匠関連史料にもとづく建築生産史の再構築と技術蓄積・伝播の解明」(研究代表者：海野聡〔東京大学大学院工学系研究科准教授〕)、科学研究費・基盤研究(B)「中近世の建築関連史料の史料学的基盤構築と高度利用手法の開発」(研究代表者：藤井恵介〔東京大学名誉教授〕)、公益財団法人松井角平記念財団2025年度研究助成「中井家文書」を中心とする工匠史料の分析と建築生産の解」(研究代表者：角田真弓)との共同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等(敬称略)	参加者数
令和7年 12月7日(日)	御所(宮殿)・邸宅造営関係資料の地脈と新天地 「宮内庁書陵部所蔵図書寮文庫内匠寮本「中井家文書」の建築史的検討」 趣旨説明 海野 聡(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授) 【午前の部】 Ⅰ 工匠史料に関する研究報告 加藤 悠希(九州大学大学院芸術工学研究院環境設計部門准教授) 「中井家の図面管理と内裏造営」 小柏 典華(芝浦工業大学建築学部建築学科准教授) 「『清水家所蔵大工文書調査報告書』からみる北関東域の大工の諸活動-函館別院本堂内陣前の欄間に関する新出史料の検討-」 【午後の部】 Ⅱ 京都御所御台所に関する報告 遠藤 瑤(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程) 「禁裏御清所・御台所部分の史料の整理・比較による改造の推移」 山口 俊輔(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程)	44人 小ホール

	「『御清所御台所膳部所物置共仕様書』および図面史料による 禁裏御台所の復元」 吉村 由渚(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程) 「禁裏御清所・御台所における走りの復元と考察」 Ⅲ 鼎談：工匠史料の特質と展望 新井 重行(東京大学史料編纂所准教授) 海野 聡 李 暉(奈良女子大学STEAM融合教育開発機構特任講師)	
--	---	--

○ 京都まるごとお茶の博覧会事業

大阪・関西万博を契機に府内各地で展開された『京都まるごとお茶の博覧会』の関連事業として、多様な茶の力を考えるシンポジウムを開催しました。

年月日	内容・発表者(敬称略)	参加者数
令和7年 9月20日(土)	茶の力を再創造する～今、京都から動き出す新しい物語～ コーディネーター 谷口 知弘(福知山公立大学地域経営学部教授) 上杉 和央(京都府立大学文学部歴史学科教授) 「地域に根差すオンリーワンの茶」 松本 靖治(おぶぶ茶苑) 「日本茶を世界へ」 岩間 孝志(京都グルメタクシー) 「あのグルメ・人・風景に会いに行く」 赤井 貫恵(日本茶教室テトア) 「お茶のバトンを未来につなぐ」	181人 大ホール

○ 京都学ラウンジミニ講座

毎週木曜日、小ホールにて、当館職員等が講師を務めるミニ講座を開催しました。

年月日	内 容	講 師(敬称略)	参加者数
令和7年 4月17日、24日、 5月1日	春季企画展「EXPO 1851→2025」関連 博覧 会小話 ①世界の万博 ②近代日本の博覧会 ③1970年大阪万博	資料課 ①藤原 直幸 ②長元 美緒 ③藤原 直幸	167人
令和7年 5月8日、15日、 22日、29日	近世巨大都市京都の都市空間 -中井家文書の世界-	京都学推進課 田坪 賢人	280人
令和7年 6月5日、12日、19 日、26日	令和6年度京都府指定等文化財の紹介 ①大山崎町・鳥居前古墳の副葬品と被葬者像 -古墳時代前期から中期への変容 ②父母の肖像画 -園部藩小出氏歴代藩主及び夫人像について- ③水晶中の小宇宙 -醍醐寺・水晶宝龕入木造阿弥陀如来立像の魅力- ④梅宮大社の社殿 -京都府新指定文化財(建造物)-	京都府文化財保護課 ①古賀 正浩 ②長谷川 貴信 ③桑原 正明 ④山田 真美	185人

令和7年 7月3日、10日、 24日、31日	『新院御所日記』にみる「口向」の役人	京都学推進課 林 奈緒子	247人
令和7年 8月7日、21日、 28日	総力戦と地域政治構造の変容-京都府第1 区と日中戦争・アジア太平洋戦争-	京都学推進課 杉本 弘幸	164人
令和7年 9月4日、11日、 18日、25日	京都府立大学 共催特別企画 ①京都の街路樹について ②京都の米で京都の酒を -なからぎを通 した試み- ③『伊勢物語』が描き出した新都・平安 京 ④戦後日本の地域開発政策と京都の事例	①京都府立大学生 命環境科学研究科 教授 福井 亘 ②京都府立大学副 学長・生命環境科 学研究科教授 増村 威宏 ③京都府立大学文 学部准教授 大塚 誠也 ④京都府立大学公 共政策学部客員准 教授 岩松 義秀	232人
令和7年 10月2日、9日、 16日、23日、30日	展示「TEA from KYOTO」関連企画 ①明治伏見桃山の茶園 ②山城から世界へ -戦前の茶の通信販売- ③京都府茶業研究所の戦前・戦時・戦後 ④近世京都の都市社会とお茶 ⑤東寺南大門前の往来と茶店 -「一服一 銭」の登場-	①京都学推進課 若林 正博 ②資料課 田中 香織 ③資料課 海野 大地 ④京都学推進課 田坪 賢人 ⑤資料課 山本 琢	318人
令和7年 11月6日、13日、 20日、27日	府立植物園、次の100年創生に向けて ①京都植物誌について ②宿根草と有用植物について ③園内初開花の植物について ④植物園のヘリテージシリーズについて	京都府立植物園 ①津田 桂子 ②磯野 浩太 ③植岡 壮平 ④中井 貞	175人
令和7年12月4日	平安京の川と道	館長 金田 章裕	156人
令和7年 12月11日、 18日、25日	古代の暮らし-旧石器時代から古墳時代を 中心に- ①考古学からみた「食」 ②住まいのうつりかわりを考える ③古代における信仰のかたち	京都府埋蔵文化財 調査研究センター ①小池 寛 ②山本 梓 ③小池 寛	240人
令和8年 1月8日、15日、 22日、29日	戦後京都のプロ野球興行 ロビンスを知っ ているか 附：特講「サード長嶋の時代」	京都学推進課 若林 正博	436人
令和8年 2月5日、12日、 19日、26日	古代の法律をよむ -律令とは何だったの か-	京都学推進課 原田 華乃	385人

令和8年 3月5日、12日、 19日、26日	地図からみる丹後国の近世城下町	京都学推進課 三好 志尚	278人
------------------------------	-----------------	-----------------	------

※令和7年12月4日、令和8年1月29日開催分については大ホールで実施。

○ 日本名作映画上映会

府民の皆様だけでなく、日本在住・来日中の海外の方々にも日本映画を通して、京都や日本の歴史・文化に親しんでいただくため、国際交流基金京都支部と共催で英語字幕付の映画上映会を開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和7年9月3日(水)	英語字幕付『西陣の姉妹』上映	224人 大ホール
令和7年12月9日(火)	英語字幕付『せかいのおきく』上映	253人 大ホール

○ 資料に親しむ会

当館が所蔵する資料について、実際に資料を見ながら、当館職員が持つ知見をわかりやすく解説する講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等(敬称略)	参加者数
令和7年5月21日(水)	活字になっている中世の古文書を読もう！ 資料課 岡本 隆明	65人 小ホール
令和7年6月18日(水)	暦の資料『日本長暦』を精読する。 資料課 藤原 直幸	54人 小ホール
令和7年10月15日(水)	深掘り“琵琶湖疏水” 資料課 松田 万智子	109人 小ホール
令和7年11月19日(水)	奥丹後の交通革命と峰山 資料課 海野 大地	65人 小ホール
令和7年12月17日(水)	昭和ノスタルジア -昭和100年- 資料課 坪倉 未佳	64人 小ホール
令和8年2月18日(水)	旅と名所図会(大坂編) 京都学推進課 若林 正博	83人 小ホール
令和8年3月18日(水)	赤穂浪士と岩屋寺 資料課 義 紘明	64人 小ホール

○ 寺子屋講座

小中学生を主な対象としたワークショップを開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和7年7月30日(水) 午後	歴彩館でボードゲームを楽しもう！京都編 資料課 藤原 直幸	19人 小ホール
令和7年8月6日(水) 午前	歴彩館でボードゲームを楽しもう！京都編 資料課 藤原 直幸	16人 小ホール

○ こども茶の湯カレッジ

小中学生を主な対象としたお茶文化に関連するワークショップを開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和7年7月30日(水) 午前	歴彩館でボードゲームを楽しもう！お茶文化編 資料課 藤原 直幸	18人 小ホール
令和7年8月6日(水) 午後	歴彩館でボードゲームを楽しもう！お茶文化編 資料課 藤原 直幸	12人 小ホール

○ 北山エリアを「e-Palette(イーパレット)」で賑わい創出連携企画

北山エリア活性化実証実験イベントの1つとして、ワークショップを開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和8年3月27日(金)	お茶文化のボードゲームを楽しもう！ 資料課 藤原 直幸	20人 小ホール

○ 館外での講座(当館職員)

年月日	演題・講師	会場等	参加者数
令和7年 6月21日(土)	「京都地球環境の殿堂」未来会議 京都学推進課 若林 正博	主催：京都府脱炭素推進課 京都学・歴彩館	38 人
令和7年 7月23日(水)	伏見のウマからサルまで～巨椋池と 東海道五十七次 京都学推進課 若林 正博	主催：近畿税理士会伏見支部 ホテルオークラ京都	80 人
令和7年 9月13日(土)	齊藤酒造の歴史と寺田屋騒動の足跡 を訪ねる 京都学推進課 若林 正博	主催：京都市観光協会 伏見区内フィールドワーク	11 人
令和7年 9月27日(土)	明治以降の京都の宇治茶の全国展開 について 京都学推進課 若林 正博	主催：さらんネット 富士ビルディング7階	11 人
令和7年 11月7日(金)	伏見 京都学推進課 若林 正博	主催：京都府府民総合案内・相談センター 府庁	10 人
令和7年 11月9日(日)	宇治と伏見を結ぶ～水運から電車まで 京都学推進課 若林 正博	主催：宇治市中央図書館 宇治市中央公民館	66 人
令和7年 11月11日(火)	伏見の成り立ちと文化・経済的な魅力 京都学推進課 若林 正博	主催：京都商工会議所青年部 ホテルモントレ京都	50 人
令和7年 11月24日(月)	二代将軍・徳川秀忠の拠点・伏見城跡を巡る 京都学推進課 若林 正博	主催：歴史街道推進協議会 伏見区内フィールドワーク	25 人
令和7年 12月8日(月)	伏見 京都学推進課 若林 正博	主催：京都信用金庫 京都信用金庫本店	50 人
令和8年 2月22日(日)	初期徳川幕府における全国支配の拠点城郭・伏見城 京都学推進課 若林 正博	主催：福山市 広島県立歴史博物館	138 人

令和8年 3月1日(日)	伏見宿 京都学推進課 若林 正博	主催：京阪ホールディングス 枚方市総合文化芸術センター	217 人
令和8年 3月21日(土)	京都電燈傘下の鉄道と今 京都学推進課 若林 正博	主催：叡山電鉄 京都学・歴彩館	200 人

◆ 資料紹介コーナー

当館主催の展覧会や講演会等に関連する所蔵資料を紹介するコーナーを設け、展覧会や講演会への興味を持ってもらい、また、理解を深めていただきました。

期 間	資料紹介コーナー名	関連事業	リスト 配布数
令和7年3月13日(木) ～6月10日(火)	2025年大阪・関西万博記念 博覧会 ヒストリー	当館展覧会	480
令和7年3月13日(木) ～5月13日(火)	ラジオ放送100周年 うつりゆくマス メディア～歴彩館の所蔵資料から～	-	120
令和7年6月12日(木) ～8月12日(火)	上村松園と京都府画学校	-	190
令和7年7月1日(火) ～9月30日(火)	外国から見たニッポン	府大図書館連携	170
令和7年7月10日(木) ～9月7日(日)	戦中・戦後の京都～戦後80年をむか えて～	-	340
令和7年8月14日(木) ～10月7日(火)	京都パン日和	-	190
令和7年9月1日(月) ～9月30日(火)	映画『西陣の姉妹』	当館主催事業	410
令和7年9月13日(土) ～11月11日(火)	資料で学ぶお茶文化	当館展覧会	385
令和7年10月9日(木) ～11月11日(火)	京都を綴る作家たち KYOTO BOOK PARK 2025開催記念	KYOTO BOOK PARK 2025	110
令和7年10月9日(木) ～12月9日(火)	映画生誕130年 京に花咲くシネマト グラフ	-	230
令和7年11月13日(木) ～令和8年1月13日(火)	京都の風土と文化に息づく馬たち	-	150
令和7年11月13日(木) ～12月9日(火)	鳥瞰図で旅をする	当館展覧会	580
令和7年12月11日(木) ～令和8年2月9日(火)	京都昭和懐古	当館主催講座	250
令和7年12月11日(木) ～12月22日(月)	海外若手研究員による府民向けセミ ナー 京都都市外交と世界歴史都市 連盟-歴史とその成果	当館主催講座	30
令和8年2月4日(水) ～3月3日(火)	古代の法律をよむ-律令とは何だっ たのか-	当館主催講座	140
令和8年2月12日(木) ～5月12日(火)	京都の豊臣家	-	-

令和8年3月4日(水) ～3月31日(火)	地図からみる丹後国の近世城下町	当館主催講座	180
--------------------------	-----------------	--------	-----

◆ SNS

館のイベント情報、休館日や開館時間、京の記憶アーカイブの更新情報(お知らせ、資料ガイド等)、資料紹介や調査(レファレンス)事例、北山エリアの話題等を広く発信するため、平成31年4月22日からX(旧Twitter)とFacebookを始めました。本年度は232件発信しました。

○ #京都あれこれ

ハッシュタグに「京都あれこれ」を付して投稿し、当館が所蔵する資料を紹介しました。本年度は『古今要覧稿』(碧簫杯)や『日本国勢調査記念録』などを取り上げ、合計23回投稿しました。

◆ 「京都学・歴彩館紀要」第9号(令和8年3月発行)

- ・ 京都学・歴彩館の特色ある京都の文化全般の研究推進と、国内外への成果発信にするものとして、京都学・歴彩館職員や京都学・歴彩館が受け入れた京都学研究員等による論文・研究ノートや資料紹介を掲載。
- ・ 第9号は、論文7件、研究ノート2件、資料紹介3件、事業報告1件を掲載。

5 大・小ホール、学習室について

大・小ホール、学習室の利用人数については、以下のとおりです。

年月	開館日数	学習室	大ホール	小ホール
令和7年4月	28日	3,597人	2,450人	600人
5月	26日	5,035人	1,345人	1,088人
6月	29日	6,815人	3,401人	1,777人
7月	29日	5,687人	4,558人	1,240人
8月	29日	6,154人	908人	1,329人
9月	27日	5,702人	2,613人	999人
10月	29日	5,794人	2,080人	1,489人
11月	26日	5,252人	2,637人	988人
12月	26日	4,631人	2,102人	969人
令和8年1月	25日	4,582人	2,430人	758人
2月	26日	5,422人	1,119人	972人
3月	29日	4,609人	1,803人	1,285人
合計	329日	63,280人	27,446人	13,494人

6 京都資料総合閲覧室の利用状況

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室(207席)で、開架図書約2万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料、古文書、行政文書などが利用できます。

(1) 京都資料総合閲覧室の利用状況

ア 出納の状況

年月	開 室 日 数	出納の状況											
		図書 (書庫資料)		古文書		行政文書		写真 資料		近代文学 資料		合計	
		件数	冊数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点(冊) 数
7年 4月	28	583	3,287	36	206	48	199	0	0	2	25	669	3,717
5月	26	609	2,938	39	191	59	460	0	0	4	65	711	3,654
6月	29	642	2,883	40	324	62	436	0	0	2	29	746	3,672
7月	29	683	3,349	41	771	68	397	0	0	0	0	792	4,517
8月	29	615	3,197	28	349	49	248	0	0	1	20	693	3,814
9月	23	469	2,621	29	250	44	246	0	0	2	187	544	3,304
10月	29	668	4,213	32	156	40	210	0	0	2	31	742	4,610
11月	26	575	2,947	24	302	43	243	0	0	1	19	643	3,511
12月	26	585	3,343	29	244	36	138	0	0	3	40	653	3,765
8年 1月	25	535	2,438	35	317	40	221	0	0	2	47	612	3,023
2月	26	552	2,695	34	273	41	233	0	0	2	38	629	3,239
3月	29	528	2,904	38	406	50	303	0	0	4	73	620	3,686
合計 (1日あたり)	325	7,044 (21.7)	36,815 (113.3)	405 (1.2)	3,789 (11.7)	580 (1.8)	3,334 (10.2)	0 (0)	0 (0)	25 (0.1)	574 (1.8)	8,054 (24.8)	44,512 (137)

イ 利用者数

年月	開室日数	利用者数	1日あたり(人)
7年4月	28	10,543	376.5
5月	26	11,123	427.8
6月	29	13,060	450.3
7月	29	17,940	618.6
8月	29	9,457	326.1
9月	23	6,415	278.9
10月	29	12,086	416.8
11月	26	10,180	391.5
12月	26	10,119	389.2
8年1月	25	10,752	430.1
2月	26	8,932	343.5
3月	29	7,248	249.9
合計	325	127,855	393.4

(2) 資料に関する相談状況

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実

施しています。京都資料総合閲覧室カウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

ア 月別相談件数

年月	口頭	電話	文書	合計
7年4月	464	84	78	626
5月	518	99	93	710
6月	441	125	83	649
7月	570	132	79	781
8月	511	124	64	699
9月	453	122	75	650
10月	508	128	88	724
11月	469	110	71	650
12月	459	111	68	638
8年1月	465	73	68	606
2月	450	81	64	595
3月	441	123	89	653
合 計	5,749	1,312	920※	7,981

※うち電子メール915件

イ 相談内容別の状況

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	2,397	340	487	3,224
複写依頼	1,587	116	98	1,792
特定図書の所蔵調査	1,022	401	87	1,510
図書に関する書誌的調査	41	17	7	65
人名・地名等の読み方調査	8	0	27	35
人物・団体調査	97	43	67	207
内容調査	258	75	100	433
その他	348	320	53	721
計	5,749	1,312	926	7,987

ウ 相談事例

○祇園祭懸装品の麒麟の図案と、一般的な麒麟の図案を見たい。

【回答】

- ・祇園祭懸装品の麒麟の図案

『祇園祭山鉦懸装品調査報告書、国内染織品の部』のp. 11、17、35、43、111、159に麒麟図がある。

- ・一般的な麒麟の図案

『竜・麒麟・鳳凰 日本の文様;29』では、図版番号11、12、205-221(ページ付なし)に麒麟図が紹介されている。

『日本の図像：神獣霊獣』のpp. 52-53、58-61、68-69、72、320-321に掲載されている。

『内外文様類集、第2巻:か-き』のp. 170、177、179に、各種麒麟の図案が掲載されている。

○大正から昭和初期にかけて、かつて京都にあった遊園地について知りたい。

【回答】

過去の当館事例等を参考にすると、大正から昭和初期にかけて京都にあった遊園地は、以下の4つがあったことがわかった。

詳細は以下の通り。

・京都パラダイス

『大京都モダニズム観光』のpp. 141-143に記述および園内写真、『地図で読む京都・岡崎年代史』のp16に記述あり。

詳細は、当館の以下の事例も参考のこと。

京資-277「大正時代に岡崎にあった遊園地、京都パラダイスについて知りたい」

https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000152500

・八瀬遊園

『京都府百年の年表, 7 建設・交通・通信編』のp. 185、『京都電灯株式会社五十年史』のpp. 189-191に記述あり。

・愛宕山上遊園地

『大京都モダニズム観光』（資料①）のpp. 134-137に記述あり。

『あたごさん：愛宕信仰の諸相とその拡がり：京都愛宕研究会発足10周年記念誌』のpp. 38-39「愛宕山鉄道拾遺」に愛宕遊園地の飛行塔全景写真が載っている。

『あたごさん：知れば識るほどおもしろい山：京都愛宕研究会発足20周年記念誌』のpp. 21-23「愛宕山ケーブルとホテル・飛行塔」に愛宕山鉄道沿線名勝圖（図1）が載っている。

・清滝遊園地

『あたごさん：知れば識るほどおもしろい山：京都愛宕研究会発足20周年記念誌』のp. 21に記述あり。

どのような施設があったかまではわからなかった。

○落柿舎の八世庵主であった山鹿栢年（やまがはくねん、本名：善兵衛）と、染織家であり京都市名誉市民でもあった山鹿清華（やまがせいか、本名：健吉）の親子が、江戸時代の軍学者である山鹿素行の子孫だとわかる資料はないか。家系図でわかれば、なおよい。

【回答】

・山鹿素行から山鹿栢年、山鹿清華親子に至るまでの家系図は見当たらなかったが、山鹿栢年、清華が山鹿素行の子孫であると記載されている資料は見つけることができた。

詳細は以下のとおり。

・山鹿素行の子孫であると記載されている資料

『近世・近代（系図研究の基礎知識：家系にみる日本の歴史；第3巻）』p. 2101に、素行の子孫として善兵衛と清華が紹介されていた。

『古今の名工2000人』p. 401の山鹿清華の項目に、山鹿素行の子孫であると記載。

「山鹿清華 日本美術年鑑所載物故者記事」（東京文化財研究所）

<https://www.tobunken.go.jp/materials/bukko/9824.html>

山鹿清華の項目に「軍学者山鹿素行の子孫」と記載。

（上記物故者記事の出典は、『日本美術年鑑 昭和57年版』のp. 278）

・山鹿素行の子孫および家系図について

『山鹿素行：平成二十八年度特別展』p. 31には山鹿家略系図が載っていたが、栢年、清

華の記載はなく、家系図では確認できなかった。

『山鹿清華展：近代染織の創始者』のpp.154-159に山鹿清華の詳細な年譜が載っているが、家系図はなく、山鹿素行の子孫であるという記述もなかった。年表によると、栢年（善兵衛）は大正15（1926）年3月8日に81歳で没（p.155）とあり、清華（健吉）は明治18（1885）年3月12日～昭和56年（1981）年6月26日とある（p.154、159）。

『京都名家墳墓録：附略伝並二碑文集覧，上巻（風俗叢書：第4輯）』のpp.365-366、および『京都名墓探訪，2（洛東編2）』のpp.20-22には、栢年・清華親子の墓の情報あり。『京都名墓探訪，2（洛東編2）』には、山鹿楓城・楓崖（ともに明治期の俳人）の墓の近くに、山鹿霞城（明治・大正期の俳人）・栢年・清華の墓があるとの情報あり。

○欄間について調べたい。欄間の歴史や写真が載っている資料はないか。

【回答】

欄間の歴史や写真がわかる資料については以下の通り。

・建築関係

『京都の意匠：暮らしと建築のスタイル』のpp.66-68に欄間の簡単な歴史と写真あり。

『京の町家案内：暮らしと意匠の美』のpp.44-45に解説あり。p.61に写真あり。

『京の家町家：Machiya：the traditional townhouses of Kyoto』のp.222に解説あり。

写真多数。

『京都御所（京都の御所と離宮：1）』、写真多数。

・彫刻・木工芸関係

『古建築の細部文様』のp.211に解説あり、写真多数。

『寺社の装飾彫刻：宮彫り-壮麗なる超絶技巧を訪ねて』、写真多数。

『京都・滋賀・三重・和歌山・大阪・奈良・兵庫 寺社の装飾彫刻：近畿編』、写真多数。

『木竹工芸の事典』のpp.410-428に欄間の項目あり。歴史、写真、作り方など詳細。

『木工（カラー日本の工芸：4）』に、欄間の製作工程の写真（pp.〔69〕-〔78〕）とその解説あり（pp.112-113）。

『木工の鑑賞基礎知識』のpp.157-159に歴史解説と写真あり。

・欄間の図（写真ではない）

『新撰欄間雛形：国立国会図書館蔵，復刻版』は、すべて図、写真なし。

『座敷書院新撰欄間雛形 残1巻』は、すべて図、写真なし。

・事典類

『日本大百科全書，23：もね-りこ』のp.852に説明と写真あり。

『世界大百科事典，29：ユエ-リン』のp.457に説明あり、写真なし。

○イギリスの美術書が、明治時代の京都の美術関係者に、どのような経路で輸入され、どの程度普及していたのかを知りたい。また、その調べ方についても知りたい。

【回答】

・輸入経路・冊数・調査方法について

断片的だが、輸入経路および美術書の冊数について記述のあった資料は以下の通りである。

岡達也「明治期京都における教育機関への海外デザインの導入-図案集を中心として」（『近代京都の美術工芸：制作・流通・鑑賞』、pp.373-400）には、丸善などの書店から購入

(p. 378) したり、海外渡航した個人から入手したりしていたことが記されている。また、p. 379には京都高等工芸学校のイギリスからの受入資料件数(明治35～明治45年)が載っている。

横溝廣子「明治初期デザイン教育資料としての西洋図案集-農商務省の博物館および東京美術学校収集資料について」(『明治・大正図案集の研究:近代にいかされた江戸のデザイン』、pp. 170-184)、森仁史「デザイン教育機関蔵書に見る図案集-東京美術学校・東京高等工芸学校・京都高等工芸学校」(『明治・大正図案集の研究:近代にいかされた江戸のデザイン』、pp. 185-201)では、海外の美術書等が京都の美術・工芸関係者にどれほど普及していたかを調べる方法として、大学図書館や博物館の蔵書目録や図書原簿を調べる方法がとられている。

また、京都ではないが、『蔵書構成の実態調査及びその評価計画について』のp. 4、資料p. 12には、東京書籍館(後の国立国会図書館)では明治9年、洋書を購入するにあたり在米留学生監督の目賀田種太郎に委託して購入したことが記されている。

- ・洋書全体の輸入量について

洋書の輸入量は、『大日本外国貿易年表』(明治15年ほか)に記載あり。

「輸入品国別表」で英国からの「書籍」の輸入量が記されているものの、美術書かどうかまではわからなかった。

『明治以降京都貿易史』も確認したが、大正時代の洋書の輸入額しか確認できなかった(巻末「京都の輸出入統計表」)。

○現在、陸上自衛隊大久保駐屯地となっている場所は、終戦後、数年間占領軍が駐留していたと聞いた。当時の周辺の写真や地図などが見たい。

【回答】

- ・大久保駐屯地について

『近代の歴史と景観 (宇治市史:4)』のpp. 485-486に、大久保を拠点に近畿地区の進駐が開始されたことについて記述あり。また、p. 486に『京都新聞』に掲載された「大久保に着いた進駐軍」の写真の画像あり。

『占領下の京都』pp. 42-43、『宇治の散歩道、第3集 西宇治地域編』p. 41によると、占領軍が大久保駐屯地に駐留していた時期は1945(昭和20)年9月25日から1955(昭和30)年。

昭和32年に姫路から陸上自衛隊第十特科連隊が転入し大久保駐屯地が誕生している。

- ・地図・空中写真

『City map of Kyoto : Kyoto prefecture, Honshu Japan. , 2nd ed.』は、占領軍が使用した占領地図だが、大久保は地図の範囲外。占領軍の動線として「To Okubo」と記してはある。

『米軍空中写真:京都東南部地域』内に昭和21年、昭和23年の空中写真がある。この空中写真は国土地理院ホームページの地図・空中写真閲覧サービスで閲覧可能(<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>) (最終閲覧日2026年3月23日)。

- ・写真等

『宇治市の昭和』pp. 70-71の大久保駐屯地のフォトコラムで、占領軍が接収していた記述がある。1945(昭和20)年当時の写真ではないが、昭和32年の大久保駐屯地の写真は載っている。

『大久保子ども風土記』p. 76「戦争直後の大久保」には、「三千人もの兵士が、もと国際航空青年学校だったところにはいました」とあり、「戦後のようす」と題した写真(日本人)が載っている。

『古都の占領』の口絵Ⅰには、著者が作成した「占領軍事故地点と接收住宅・接收施設の分布」という地図があるが、宇治市は範囲外。p. 17以降、占領軍が京都に到着した様子が細かく記述されているが、大久保に関して詳しい情報はなし。写真も載っているが、『近代の歴史と景観（宇治市史：4）』と同じ写真（『京都新聞』1945年9月26日付）。

○現在の京都府長岡京市に戦前にあった、長岡女子美術学校について知りたい。

【回答】

・概要は以下の通り

長岡女子美術学校の正式名称は「日本女子美術学校」

昭和10年11月創立、昭和11年4月開校、昭和19年閉校（推定）

設立者：池田新兵衛、風間八左衛門、武藤玲子

歴代校長：水無瀬忠政、吉澤義則

所在地：乙訓郡新神足村字開田小字西陣町35

詳細は以下の通り。

・基本情報（設立年・所在地・科目等）

『日本美術年鑑』昭和13年版のp. 45に「日本女子美術学校」の設立年や科目など学校の概要あり。

『京都商工人名録 昭和13年度』の「附録」p. 10の「私立学校」の項目に「日本女子美術学校」の名称で、校長水無瀬忠政の名前あり。所在地は乙訓郡長岡天神とある。

『京都府学事関係職員録』の昭和15年（p. 102）、昭和17年（pp. 117-118）、昭和18年（pp. 112-113）に記載あり。

すべて、「各種学校」の項目に「日本女子美術学校」の名称で、校長をはじめとする教授や講師の名前が書かれている。校長は吉澤義則であった。（昭和17年は「義利」となっている。誤字か。）昭和17年版には「乙、新神足村開田西陣町35」と詳細な所在地あり。

『京都府学事要覧』に基本情報（学校名、所在地、創立年、学科、就業年数、設立者、校長）あり。記載があったのは次の通り（昭和14年～昭和17年は所蔵なし）。

昭和11年版（p. 127）、昭和12年（p. 134）、昭和13年（p. 137）、昭和18年（p. 107）、昭和19年（p. 119）。

なお、昭和11年、12年の設立者は池田新兵衛、昭和13年の設立者は池田新兵衛・風間八左衛門、昭和18年は武藤玲子、昭和19年は武藤玲子・風間八左衛門。

また、昭和11年～13年の校長は水無瀬忠政、昭和18年の校長は吉澤吉則（誤字か）、19年は吉沢義則とあった。

・東洋紡績長岡寮との関係について

昭和28年の長岡の都市計画基本図で場所を確認すると西陣町に「東洋紡績長岡寮」という建物があることが確認できた。

『東洋紡績七十年史』p. 427に、昭和20年6月戦時特別措置として「なお本店は京都府乙訓郡新神足村の長岡天神社境内の女子美術学校跡に移して総括事務を行った。」とある。

昭和40年の長岡町の住宅地図p. 6の該当地には「東洋紡績長岡学生寮」があった。

・閉校の時期について

『京都府学事要覧』昭和19年まで記載が確認できること。

『東洋紡績七十年史』p. 427に、昭和20年6月に日本女子美術学校跡に本店を移したと。

以上のことから閉校を昭和19年度と推定できる。

* 当館では、回答した事例の中からピックアップし、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベース (<https://crd.ndl.go.jp/reference/>) に登録しています。当館で受け付けた相談事例の詳細は、上記より御覧いただけます。レファレンス事例の詳細検索画面から、検索項目：提供館名「京都府立京都学・歴彩館」で検索してください。

エ 古文書相談

古文書相談は、古文書の解説、整理・保存等についての相談対応するものです。
カウンターで随時対応したほか、手紙・メール等で寄せられた相談に対応しました。

オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成27年11月12日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

利用申込件数	73
複写申込件数	57
複写枚数	700

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

詳細は次のとおりです。

番号	申請者の区分	資料区分	資料名	点数
1	個人	日本画	冷泉為恭「年中行事絵巻模本」	1
2	個人	日本画	冷泉為恭「年中行事絵巻模本」ほか	2
3	個人	日本画	刀水「腹巻武将」	1
4	個人	日本画	祇園井特「美人図」ほか	5
5	個人	日本画	池大雅「柳下童子図屏風」ほか	3
6	個人	日本画	伝住吉如慶「鳴門中將物語絵巻」	1
7	個人	日本画	伝住吉如慶「鳴門中將物語絵巻」ほか	2
8	法人	日本画	樋口富麻呂ほか「航空隊スケッチ集」一式	1
9	個人	日本画	竹内浩一「羅城門」(京の絵本)	1
10	個人	陶芸、書	大田垣蓮月「筆洗」ほか	24
11	個人	日本画	西川祐信「源氏物語図 若菜上下」	1
12	個人	日本画	森寛斎「京新名所四季図屏風」ほか	2
13	個人	洋画	斉藤博「漁夫二人」	1
14	個人	日本画	「也阿弥ホテル図」	1
合計				14件 46点

7 館蔵資料等の撮影と複写

(1) 使用及び利用

館蔵資料等を調査研究、出版等に使用するため、撮影等を行う場合の使用申請と、出版物等への掲載等を行う場合の利用届があったのは次のとおりでした。

資料種別	使用		利用	
	件数	冊(点)数	件数	冊(点)数
図書資料	15	45	40	110
図書・雑誌	11	34	26	86
古典籍	4	11	12	22
写真	0	0	2	2
文書資料	8	21	72	259
古文書	8	21	35	139
行政文書	0	0	35	114
写真資料	0	0	1	5
近代文学資料	0	0	1	1
管理委託現物資料	22	52	22	52
合 計	45	118	134	421

(2) 行政文書の自写(許可を得て利用者自身が撮影)の状況

1,237点 40,393枚

(3) 複写状況(R7. 4. 1～R8. 3. 31)

複写種別		合計	
		件数	枚数
電子式複写	白黒	6,356	97,956
	カラー		6,418
(撮影)※			(11,602)
画像プリント			1,646
マイクロリーダープリンター			3,448
国会図書館デジタル送信 資料用端末による印刷	白黒		678
	カラー		22
歴史資料アーカイブ及び 館内閲覧端末での印刷	白黒		1,308
	カラー		289
合 計		6,356	111,765

※撮影は、複写枚数に含まない。

8 資料の貸与

本年度は、次のとおり、合計 14件、72点の貸与を行いました。

(1) 図書資料

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	国立歴史民俗博物館 「野村正治郎とジャポニズムの時代-着物を世界に広げた人物」	京みやげ工芸と 名勝ほか	2

(2) 古典籍

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都産業大学ギャラリー 京都産業大学創立60周年記念・京都産業大学ギャラリー第29回 企画展「なごころとめいしょ-和歌から洛外図まで-」	都名所圖會ほか	13
2	北海道博物館 第11回特別展「新選組永倉新八と会津藩士栗田鉄馬-二人のサム ライが歩んだ幕末・近代-」	[新撰組往時實 戦談書]	1
3	滋賀県立美術館 企画展「おさんぽ展-空也上人から谷口ジロ-まで-」	濟北集	1
4	高槻市立しろあと歴史館 特別展「戦国動乱の畿内-足利将軍家と細川京兆家の分裂-」	二水記	1
5	福井県立歴史博物館 令和7年度秋季特別展「越前・若狭 異国との出会い-奈良・平安 時代を中心に-」	日本後紀ほか	9

(3) 古文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	亀岡市文化資料館 第41回特別展「丹波亀山城-失われたお城の姿と城下町-」	城郭図	2
2	北海道博物館 第11回特別展「新選組永倉新八と会津藩士栗田鉄馬-二人のサム ライが歩んだ幕末・近代-」	文久三年御触書 木札、山本読書 室資料	3
3	南丹市立文化博物館 令和7年度秋季特別展「園部藩主小出家」	中井家文書ほか	6
4	大山崎町歴史資料館 第33回企画展「三川合流と淀・大山崎-淀川と沿岸の歩み-」	田辺家文書・ 甲、当進軒文庫 旧蔵絵図	14
5	高槻市立しろあと歴史館 特別展「戦国動乱の畿内-足利将軍家と細川京兆家の分裂-」	東寺百合文書	11
6	東京国立博物館 特別展「百万石！加賀前田家」	東寺百合文書	6

(4) 行政文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	亀岡市文化資料館 第41回特別展示「丹波亀山城-失われたお城の姿と城下町-」	京都府庁史料 明07-0030、明08- 0033	2
2	大山崎町歴史資料館 令和7年度第33回企画展「三川合流と淀・大山崎-淀川と沿岸の 歩み-」	京都府庁史料 維新前民政資料 071	1

(5) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計17件(137点)の貸与を行いました。

貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会等の名称	部門	資料名	点数
1	斎宮歴史博物館	展覧会「斎王のよそおい-王朝人のファッション are-colle-」	日本画	「承安五節会絵巻(模本)」	1
2	大津市長等創作展示館・三橋節子美術館	展覧会「絶筆・余呉の天女への軌跡」	日本画	三橋節子「野草」ほか	6
3	京都府文化生活部	府民ギャラリー事業二役室	日本画・洋画	高越甚「衣笠山と堂本印象美術館」(こころの京都62)ほか	6
4	MIHO MUSEUM	展覧会「伝統の漆匠 佐野長寛」	陶芸	西村宗三郎資料一件	1
5	荒神谷博物館	展覧会「しまねだヨ! 弥生の青銅器大集合!」	考古	京都府指定文化財 梅ヶ畑出土 袈裟褌文銅鐸 4号鐸	1
6	個人	「2025年第63回日本現代工芸美術展近畿展 併催漆芸家 伊藤裕司遺作展」	漆芸	伊藤裕司「雲と波と」ほか	12
7	平塚市美術館	展覧会「没後35周年 北澤映月展」	日本画	北沢映月「二面像」	1
8	富山県水墨美術館	展覧会「日本画×始動 明治後期、花開く日本画と文展開設」	日本画	榊原紫峰「南園の一隅に於ける曲と眠り」	1
9	京都府文化生活部	府民ギャラリー事業二役室	日本画・洋画	中尾英武「三岳山金光寺」(こころの京都18)ほか	6
10	京都府立堂本印象美術館	展覧会「The Great DOMOTO-堂本印象の家族たち-」	漆芸	堂本漆軒「洋蘭蒔絵飾棚」	1
11	和歌山市立博物館	展覧会「紀州の美を統べし 殿様 徳川治宝」	日本画	冷泉為恭「年中行事 絵巻模本」ほか	2
12	大分県立美術館	展覧会「きらめく日本美術 1300年の至宝」	日本画	三畠上龍「常盤御前」	1
13	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館	日本画	川島睦郎「秋叢」	1
14	京都府文化生活部	府民ギャラリー事業二役室	日本画・洋画	由里本出「丹後松島冬韻」(こころの京都18)ほか	6
15	京都府文化生活部	府民ギャラリー事業二役室	日本画	松本祐子「千年の春」(こころの京都13)ほか	6
16	尾道市立美術館	展覧会「京の百景」	日本画	小野竹喬「鴨川夜景」(京の百景2)ほか	83

17	京都府立堂本印象美術館	展覧会「竹内浩一 風が迎えて」	日本画	竹内浩一「明恵が在る」ほか	2
合計					17件 137点

9 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、18館、34冊の貸出し、1館、2冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	3	2	南丹市立中央図書館	2	-
京都市中央図書館	3	-	南丹市八木図書室	1	-
京都市右京中央図書館	2	-	京丹波町図書館中央館	1	-
京都市左京図書館	1	-	舞鶴市立東図書館	3	-
京都市下京図書館	1	-	舞鶴市立西図書館	2	-
向日市立図書館	1	-	宮津市立図書館	2	-
宇治市中央図書館	1	-	京都女子大学図書館	3	-
久御山町立図書館	1	-	京都橘大学図書館	1	-
八幡市立八幡市民図書館	2	-	京都精華大学情報館	4	-
計				34	2

(2) 国立国会図書館等

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、借受利用はありませんでした。

10 共催事業等

○ 日本文化史研究1・2

京都府立大学文学部歴史学科の授業「日本文化史研究1・2」を当館にて実施しました。当館の所蔵資料を使ってグループ毎に設定したテーマで調査研究を行い、その成果発表の展覧会「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」を当館の展示室で開催しました。

(授業期間：令和7年度前期(15回)・後期(12回)、受講者：16人、展覧会会期：令和7年12月13日(土)～12月27日(土))

○ 資料で京都

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構と連携した科目「資料で京都(リベラルアーツ・ゼミナール)」を開講しました(昨年までの「資料で親しむ京都学」から改称)。当館が所蔵する資料の価値や、利用・調査方法を講義しました。(期間：令和7年度夏季集中講義(2日間8コマ)、受講者：20人)

○ 講座・シンポジウム等

当館を会場に次の共催事業を開催しました。

事業名	年月日	主催・共催者	参加者数
公益財団法人古代学協会 2025年度連続講座「平安王朝 の暮らしと文化」第1回「平安 京から京都へ」	令和7年5月10日(土)	公益財団法人古代学協会	150人 大ホール
公益財団法人古代学協会 2025年度連続講座「平安王朝 の暮らしと文化」第2回「絵巻 と記録から寝殿造を紐解く」	令和7年6月21日(土)	公益財団法人古代学協会	120人 大ホール
公益財団法人古代学協会 2025年度連続講座「平安王朝 の暮らしと文化」第3回「後宮 世界の秘めごと」	令和7年7月5日(土)	公益財団法人古代学協会	160人 大ホール
公益財団法人古代学協会 2025年度連続講座「平安王朝 の暮らしと文化」第4回「平清 盛の生母の謎」	令和7年9月6日(土)	公益財団法人古代学協会	160人 大ホール
第2回地域交流フォーラム	令和7年9月22日(月)	京都府立大学京都地域 未来創造センター	40人 小ホール 40人 京都学ラウンジ
公益財団法人古代学協会 2025年度連続講座「平安王朝 の暮らしと文化」第5回「平安 京の流行歌」	令和7年9月28日(日)	公益財団法人古代学協会	100人 大ホール
公益財団法人古代学協会 2025年度連続講座「平安王朝 の暮らしと文化」第6回「王朝 文学と宇治」	令和7年10月18日(土)	公益財団法人古代学協会	95人 大ホール
公益財団法人古代学協会 2025年度連続講座「平安王朝 の暮らしと文化」第7回「斎王 制度と天皇制」	令和7年11月16日(日)	公益財団法人古代学協会	141人 大ホール
嵯峨大念佛狂言保存会「京の 大念仏狂言を彩る面 第2弾」	令和7年11月22日(土)	嵯峨大念佛狂言保存会	71人 大ホール
公益財団法人古代学協会 2025年度連続講座「平安王朝 の暮らしと文化」第8回「平安 遷都の創建と変容」	令和7年12月20日(土)	公益財団法人古代学協会	140人 大ホール
公益財団法人京都古文化保存 協会シンポジウム「京の宝 未来へ-文化財とカミキリム シ-」	令和8年2月14日(土)	公益財団法人 京都古文化保存協会	160人 大ホール

○ 指定管理者(コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体)主催事業(当館共催)

事業名	年月日	参加者数
新・京都学講座「御土居の凸凹を歩く：京都洛北編」	令和7年4月19日(土)	411人
歴彩館こどもカレッジ「みんぷら運転会 in 京都～僕の街と鉄道～」	令和7年5月31日(土) ～6月1日(日)	705人
歴彩館こどもカレッジ 昆虫教室「くるび先生にきく！昆虫の生き方」	令和6年7月26日(土)	200人
歴彩館こどもカレッジ 京印章ワークショップ「職人さんと石のハンコをつくろう！」	令和7年8月10日(日)	41人
新・京都学講座「建築探偵 円満字洋介の京都建築遺産【七条通り編】」	令和7年9月7日(日)	168人
下鴨ブックフェア2025	令和7年10月11日(土) ～12日(日)	4,072人
古典とともにいきる-江戸から現代へ-檜書店の“伝えるかたち”	令和7年11月16日(日)	48人
タイムトリップきょうと 関連講演会	令和7年12月14日(日)	66人
歴彩館こどもカレッジ 水墨画教室	令和8年1月17日(土)	24人
北山彩論voi.3「“jewelry petit”と小さな宝物」	令和8年1月25日(日)	42人
北山エリア活性化実証実験連携事業「お茶文化のボードゲームを楽しもう！」	令和8年3月27日(金)	27人
新・京都学講座「素材をひらく-漆と染料で紡ぐ伝統工芸の世界-」	令和8年3月29日(日)	37人
歴彩館こどもカレッジ 防災教室「おやこで防災知識を身につけよう！」	令和8年3月29日(日)	101人
北山あおいフェスティバル	令和8年3月29日(日)	-

○ 新聞連載

「京都新聞」(毎月第四日曜日朝刊、地域プラス全域)に、江戸時代に発行された京都で最初の名所案内記「京童」を基に、現代の京都を代表する名所がかつてどのように描かれたのかを探り、現代の風景と比較するコラム「タイムトリップきょうと-江戸時代の名所記より-」を連載。(府立大学教員と共同執筆)

	日付	取り上げた名所	執筆者
1	令和7年4月27日	清水の舞台(京都市東山区)	京都府立大学教授 藤原 英城
2	令和7年5月25日	船岡山(京都市北区)	京都府立大学教授 竹島 一希
3	令和7年6月22日	志明院(京都市北区)	京都学・歴彩館資料課 合田 淳
4	令和7年7月27日	六道珍皇寺(京都市東山区)	京都府立大学教授 本井 牧子
5	令和7年8月24日	三条大橋(京都市中京、東山区)	京都府立大学准教授 市村 太郎
6	令和7年9月28日	放生川(八幡市)	京都学・歴彩館資料課 森國 晶菜
7	令和7年10月26日	宇治(宇治市)	京都府立大学教授 林 香奈
8	令和7年11月23日	四条河原(京都市東山区など)	京都学・歴彩館資料課 藤原 直幸
9	令和7年12月28日	羅城門跡(京都市南区)	京都府立大学教授 仁木 夏実
10	令和8年1月25日	五條天神宮(京都市下京区)	京都学・歴彩館資料課 長元 美緒
11	令和8年2月22日	木幡(宇治市)	京都府立大学准教授 吉岡 真由美
12	令和8年3月22日	法輪寺(京都市西京区)	京都学・歴彩館資料課 松田 万智子

1 1 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・図書資料

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料

- ・古文書
- ・行政文書
- ・写真資料
- ・近代文学資料
- ・管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分		購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)
京都資料		348	1,157	257	1,762
京都に関連するその他の資料 (歴史、美術、宗教等)		245	2,181	37	2,463
官庁資料	京都関係	73	616	482	1,171
	国・他府県	91	85	17	193
合 計		757	4,039	793	5,589

ア 歴史・地誌

書 名	著編者等
中世地下文書論の方法と実践	春田直紀編
平安時代の年官と地方社会:都と諸国の人的ネットワーク	手嶋大侑著
中世の家族と政治・法	菅原正子著
豊臣政権の統治構造	谷徹也著
日本の地理学の百年	日本地理学会百年史編集委員会編
旧版地形図類の基礎的研究	清水靖夫[著]
鳥瞰図絵師吉田初三郎の世界:美しい絵図で訪ねる近代日本	吉田初三郎[作]
京都出身者の沖縄戦(京都府立大学文化遺産叢書:第36集)	上杉和央編集
京都の近現代を歩く	竹内正浩[著]
近世京都における都市秩序の系譜	牧知宏著
京都市の100年:写真が語る	しなのき書房編集
大宅地域2000年の旅	鏡山次郎[著]
みんなでつくった深草今昔写真集 第1集	深草地域の文化「保存・継承・創造」プロジェクト実行委員会編集
京都府舞鶴市梅垣西浦文書(府指定)	舞鶴中世史研究会編集
友重の歴史	友重歴史研究会編
京都からカブで行く日帰り淹めぐり 3	武市伸幸著
京都を学ぶ:文化資源を発掘する 洛中編	京都学研究会編
京都路地裏探検隊100回記念誌	松林まゆみ, 草野文彦企画・編集・制作
おせたげる京都南山城エリアめぐり(F&F mook:2)	FU&F0プロジェクト著

イ 宗教

書 名	著編者等
京都北山エリアぐるっと心理学さんぽ:「心」ってなんだろう?	伊藤一美, 向山泰代編/高井直美, 松島るみ, 菊野雄一郎, 武藤翔太 編集委員
彦根藩儒学の胎動:新たな学びの18世紀	彦根城博物館編
陰陽道と名田庄関係資料:附、名田庄下陰陽師西家文書目録 (文化財調査報告書:2024年度、土御門家陰陽道の歴史:名田 庄・納田終の地にて:続)	おおい町教育委員会
聖地霊場の成立についての分野横断的研究(京都府立大学文 化遺産叢書:第25集)	菱田哲郎編
「謎」で巡る神社の歩き方:神社創建の歴史:鹿島・香取・春 日・伊勢・祇園・氷川を中心に	島田裕巳著
賀茂別雷神社文書の世界:その歴史・文化・修理:重要文化 財:特別展	編集京都産業大学ギャラリー
下鴨さんから聞いた神社・神話の大切なおはなし:京都でも っとも古い世界遺産の神社	新木直安監修
祇園社務家日記(慶応四年「明治元年」)/社務所日誌1(慶応四 年「明治元年」-明治三年)(八坂神社日誌:第1巻)	八坂神社文書編纂委員会編
通俗仏書の出版と民衆仏教(近世仏教資料叢書:第1巻)	引野亨輔編
宗祖弘法大師ご誕生千二百五十年奉修紀要	宗祖弘法大師ご誕生千二百五十年 奉修局編集
山の寺念仏寺所蔵史料調査報告書(東京大学史料編纂所研究 成果報告:2022-2)	服部光真編
本福寺:近江堅田:親鸞聖人生誕八五〇年記念企画展	大津市歴史博物館編集
東西本願寺120のちがい	鎌田宗雲著
無外如大尼:生涯と伝承:中近世の女性と仏教:無外如大尼大 和尚生誕八百年記念	中世日本研究所編集
高山寺典籍文書綜合調査団研究報告論集 令和6年度	高山寺典籍文書綜合調査団[編]
和泉寺誌	福城山和泉寺
相国寺史 第4巻:史料編近世近現代	相国寺史編纂委員会[編]

ウ 芸術・文芸

書 名	著編者等
神護寺:空海と真言密教のはじまり:創建一二〇〇年記念特 別展	東京国立博物館, 読売新聞社編集
日本、美のるつぽー異文化交流の軌跡ー:大阪・関西万博開 催記念特別展	京都国立博物館, 朝日新聞社編集
京都府新鋭選抜展:Kyoto art for tomorrow 2025	京都府, 京都文化博物館編集
未来へのおくりもの:京都府×京都市指定文化財	京都文化博物館
京都の文化財 第42集	京都府教育庁指導部文化財保護課 編集
芸大の先生に教わる仏像の歴史	礪波恵昭, 真船きょうこ[著]
近代日本における「絵画の変」:洋画の流行からデザインの導 入まで	並木誠士[著]

平安時代の信仰と暮らし(図鑑モノから読み解く王朝絵巻:第3巻)	倉田実著
洛中洛外図屏風勝興寺本:近世初頭の京を歩く	針山康雄著
京の夕顔・江戸の朝顔:『修紫田舎源氏』の錦絵から	家塚智子著
磨く松園視る松篁誘う淳之:上村三代の画業:京都画壇・京都芸大とともに	柏木加代子著
岡墨光堂:一三〇年のあゆみ	岡墨光堂
ふしぎなイモフォンとお月見パーティー:竹野小学校150周年記念	小川よしのり作/まえだななよ絵/ 竹野ファンクラブかんしゅう
KG+SELECT 10 YEARS 10 ARTISTS	KYOTOGRAPHIE KG+ 監修・編集
桜(京都の意匠)	水野克比古, 水野秀比古著
よい使い手よい作り手:66の京都の工房を巡る:伝統工芸の今を未来に 池坊専宗がみつめた匠の世界	池坊専宗写真・執筆, Julia Yamane(山根樹)訳, 宇野佳男企画・編集・制作
京都工芸美術作家協会展:煌—KOGEI・つながる未来—:創立80周年記念	編集京都工芸美術作家協会
明治の七宝	清水三年坂美術館編集
芸術を着るきもの:七代永治屋清左衛門名作手鑑:唐織と二重織	永井幸三郎著
京友禅への誘い:室町京正のきもの	那須修著
泉屋博古館(せんおくはくこかん)の名宝:住友春翠(すみともしゅんすい)の愛でた祈りの造形:特別陳列	奈良国立博物館編
能楽金剛流の歴史と四季の能	金剛龍謹著
京都・嵯峨狂言クラブ記念誌:嵯峨狂言クラブ創立36周年	嵯峨狂言クラブ編集
語りつなぐ保存会50年の歩み(ゑんま堂狂言閻魔帳)	千本船岡山地域伝統芸能保存継承会(せんふな会)編集・制作
京都陸上競技協会創立90周年記念誌	京都陸上競技協会
一翁の茶の湯:武者小路千家第四世一翁宗守居士三百五十年忌記念	武者小路千家官休庵
初子さん	赤染晶子著
1人目の客(暇文庫)	蠱惑暇著
戦争と被爆体験80年の証言:未来へつなぐ記憶	京都生活協同組合

エ 社会・産業

書 名	著編者等
未来に生きる:「老コミュニスト」の残し文	有田光雄著
三十年史	世界人権問題研究センター[編集]
『発言者』とその時代:ポスト冷戦期における日本の保守主義再考	同志社大学人文科学研究所編集
さあ!!核兵器のない地球へ:日本被団協ノーベル平和賞授賞式報告会の記録	花垣ルミさんをノーベル平和賞授賞式に送る会
レジスタントの京都:治安維持法下の青春	京都治安維持法研究会編
京都の赤十字:1889-2024:日本赤十字社京都府支部	日本赤十字社京都府支部
生の希望 死の輝き:人間の在り方をひも解く	伊藤芳宏著
紺碧:折々の心のかたち	著者古村絢子

京都府立第一高女・鴨沂高校開校150周年記念事業会報告書	京都府立鴨沂高等学校同窓会
清明高校の謎を解く! : 多様性を受けとめる : 生徒をリスペクトする学校文化はどのように生まれ、受け継がれているのか	横道誠著
京都府立朱雀高等学校蔵和本調査研究	京都府立朱雀高等学校定時制課程
宮川町花舞台 : 新歌舞練場落成記念誌	編集岡本俊昭, 松本直子
カップ研究会鴨川大水害90年記念講演会資料	カップ研究会
京都山草会 : 60年の歴史とそのあらし	平井一紘, 森元陽三, 京都山草会
旧村井家別邸(長楽館)建造物調査報告書	長楽館
東九条が育てたパチ・チョゴリの作り方	朴清子
京の食文化すzuki調査研究業務報告書 : 令和6年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業	京都市農業協同組合
京のほんまもん : 井筒ハツ橋本舗六代津田佐兵衛物語	六代津田佐兵衛, 七代津田佐兵衛語り/根津眞澄聞き書き

オ 参考図書

書 名	著編者等
写真にみる日本図書館史	新藤透編著
本の江戸文化講義 : 蔦屋重三郎と本屋の時代	鈴木俊幸[著]
ミュージアムと生きていく	大澤夏美著
キクタン英会話 : 聞いてマネしてすらすら話せる 京都編	アルク出版編集部編

カ 官庁資料

区分	書 名	著編者等
京都 関係	「京都府総合計画」実施状況報告書 令和6(2024)年度	京都府
	京都府名誉友好大使レポート集 [2025]	京都府国際課
	京都府市町村のあらし 令和6年度版	京都府総務部自治振興課編集
	レッドデータから見る府の生物多様性 : 京都府における生物多様性はいかにあるべきか	[京都府]/[きょうと生物多様性センター]/[関西自然保護機構]
	京都府脳卒中登録事業報告書 令和3年(1月-12月)発症例	京都府医師会脳卒中登録事業委員会編集
	京都府食育推進行動計画 : 実績報告 令和5年度	[京都府]
	ツキノワグマに注意!! : 被害を防ぐために 第2版	京都府中丹広域振興局/野生動物保護管理事務所
国	舞鶴若狭自動車道全線開通10周年記念	敦賀舞鶴間道路整備促進期成同盟会
	SNSを取り巻く犯罪と警察の取組 : 特集(警察白書 : 令和7年版)	国家公安委員会, 警察庁[編著]
	賃金センサス 令和7年版第1~4巻	労働法令編
	薬事工業生産動態統計年報 令和5年	厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課

キ 古典籍

資料名	著編者等
大廣益新改正大日本永代節用無盡藏：眞艸兩點	河邊栞楊子舊編/堀源入齊遺草/堀原甫子續輯/池田東籬亭冊筆/森川保之子[ほか] 圖畫
京師遊里/京師芝居	[書写者不明]
通常物圖解便覽	西邨義民編述/遠藤茂平書画

ク 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数	継続寄贈・取得数
京 都 関 係	3,738	3	1,029
一般(歴史・美術・官庁等)	3,103	62	712
京 都 官 庁 関 係	909	-	254
計	7,750	65	1,995

本年度は『西陣新聞』(昭8)などを収集しました。

(2) 行政文書

ア 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

永年保存文書の移管	
完 結 年 度	点数
平成10年度分	1,242
過年度分	501
合 計	1,743

有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	点数
平成8年度～平成30年度	308
平成11年度～平成31年度	362
道路管理課	184
合 計	854

イ 整理

同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けた資料200点について、目録を作成し、検索システムの歴史資料アーカイブで公開しました。

(3) 文書の保存と複製資料の作成

ア 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

イ 複製資料の状況

資料区分	令和7年度収集			累 計(令和8年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (点数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (点数)
古 文 書	-	-	-	556	1,388	2,205
行政文書	-	-	2	9	0	2,156
合 計	-	-	2	565	1,388	3,122

ウ デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約8.1万点	平成26年3月～
歴史資料アーカイブ	図書資料	平成27年11月～
	古文書	
	写真資料	
	美術工芸品他	
	行政文書	
国書データベース	約15.6万点	令和3年7月～

(令和8年3月31日現在)

* 図書資料は、国文学研究資料館が構築する国書データベースに画像データを新規公開・一部移行しました。

(4) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料等は、19件79点で、明細は次のとおりです。

受入先	資料区分	資料名	点数	収集区分
1	日本画	堀泰明「蘭陵王・納曽利」	1	寄贈
2	日本画	堀井香坡「桃の節句」ほか	3	寄贈
	洋画	上野山清貢「舞妓(京都にて)」ほか	4	
3	歴史	麻家文書 58点一括	1	寄贈
4	日本画	土手朋英「湖上」ほか	3	寄贈
5	日本画	入江酉一郎「たかあしがに」ほか	2	寄贈
6	洋画	加藤源之助「鉛筆画」50枚一括 ほか	26	寄贈
7	日本画	樋口富麻呂ほか「航空隊スケッチ集」84点一式 ほか	3	寄贈
8	日本画	堂本印象「流」 ほか	3	寄贈
9	歴史	西陣三上家資料(文書・冊子357点、染織品6箱)一式	1	寄贈
10	歴史	鳴門中將物語絵巻	1	寄贈
11	陶芸	辻晋六「黒鮫肌釉押出文壺」 ほか	6	寄贈
12	日本画	鶴澤探真「耕織図屏風」	1	寄贈
13	日本画	島田雅喬「高階家別荘図巻」	1	寄贈
14	陶芸	竹中浩「白磁大壺」 ほか	3	寄贈

15	洋画	吉田光慶 スケッチブック 20冊一式 ほか	3	寄贈
16	洋画	飯田清穀「造船所」 ほか	5	寄贈
17	日本画	勝田哲「祇園浅宵」 ほか	4	寄贈
18	日本画	増山雪斎「草花写生図巻(春)」ほか	3	寄贈
	書	香川黄中「和歌「線」」 ほか	2	
19	歴史	脇差 加州住藤原家重ト銘ガアル ほか	3	寄贈
合 計			19件	79点

1 2 調査

本年度、調査した文書は次のとおりです。

(1) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書(紙媒体のみ)のうち、保存期限が経過した有期限保存文書の紙媒体約3,900点、電子媒体約21,100点を学術研究資料としての価値について調査しました。

1 3 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」(京都府立庁前年(慶応3年)から昭和21年度までの15,407点)について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治・大正・昭和期の資料2点の修理を行ったほか、69点の資料に経常的な手当てを行いました。

1 4 図書館実習・インターンシップ

(1) 図書館実習

同志社大学学生 令和7年8月26日～8月29日(4日間) 2人

(2) インターンシップ

今年度の受入はありませんでした。

1 5 新聞掲載等

年月日	新聞名等	見出し
令和7年 5月3日(土)	京都新聞	古今東西 博覧会資料ずらり 歴彩館、ロンドン万博から現代まで ポスターなど 歴史たどる
令和7年 10月9日(木)	京都新聞	京都茶文化 広がりたどる 左京で特別展 茶つぼや史料並ぶ
令和7年 10月24日(金)	京都新聞	戦前の乙訓 営み伝える 地域紙「昭和新聞」9号分保存を確認 政治や人事、娯楽情報
令和7年 11月25日(火)	京都新聞	嵐電 叡電 似て非なる歴史 ルーツは同じ電力会社
令和7年 11月26日(水)	京都新聞	旅して描いた鳥瞰図雄大 京出身の絵師・吉田初三郎 左京で 没後70年展

令和7年 12月26日(金)	京都新聞	軍都の名残、学び舎、店名に
令和8年 1月3日(土)	京都新聞	ナゼ?なぞ?乙訓 消えた記憶と不思議の足跡 北・南にある東・西向日駅 西国街道基準に地理認識か
令和8年 1月25日(日)	中国新聞	伏見櫓の移築元、伏見城を知って
令和8年 1月27日(火)	京都新聞	吉田義男さんと長嶋茂雄さん 2人の意外な関係性とは 歴彩館で29日講座
令和8年 2月11日(水)	京都新聞	本に親しみ 本がつなぐ 古本交換、思いがけない1冊に ジャ ンル多彩400冊 左京・歴彩館
令和8年 3月1日(日)	京都新聞	おとくに歴史体感 物集女駅跡(京都市西京区) 2年で廃止「幻の駅」
令和8年 3月7日(土)	京都新聞	地域プラス 「京都に5万人球場」幻の計画 戦後すぐ「六大都市のたしなみ」、記事に残る熱 甲子園超え規模 プロ野球「太陽ロビンス」本拠時

16 ウェブ提供サービスのまとめ

コンテンツ			統計項目			
ホームページ(京都府)			閲覧数(トップページ)	39,916		
			閲覧数(全ページ)	87,969		
ホームページ(指定管理者)			閲覧数(トップページ)	127,459		
			閲覧数(全ページ)	459,541		
京都府立京都学・歴彩館歴史資料アーカイブ			閲覧数(トップページ)	74,155		
			閲覧数(全ページ)	528,925		
			書誌アクセス数	129,849		
			画像ダウンロード数	147,322		
			古文書	資料群	提供件数	1,211
					新規登録件数	0
				目録	提供件数	140,159
					うち提供画像数	22,816
			新規登録件数		2	
			新規登録画像数		0	
行政文書 (国立公文書館デジタルアーカイブへも連携)	簿冊	提供件数	92,366			
		新規登録件数	1,961			
	件名	提供件数	641,423			
		うち提供画像数	86,215			
		新規登録件数	0			
		新規登録画像数	0			
写真資料	資料群	提供件数	14			
		新規登録件数	0			

	目録	提供件数	131,327	
		うち提供画像数	69,447	
		新規登録件数	0	
		新規登録画像数	0	
	近代文学資料		提供件数	3,641
			提供画像数	0
	古典籍・図書		提供タイトル数	2,878
			うち提供画像数	461,482
			新規登録タイトル数	1
			新規登録画像数	62
	行政文書寺院関連情報		提供件数	7,997
	京都雑誌記事 論文等	雑誌記事	提供件数	80,747
			新規登録件数	0
		京都府関係 パンフレット	提供件数	3,532
			新規登録件数	234
		映像資料等	提供件数	143
			新規登録件数	0
京都府百年の年表		提供件数	18,527	
京都府公報目次		提供件数	60,355	
		新規登録件数	0	
東寺百合文書WEB * Botアクセスを除いた数値。前年からBotアクセス判定の見直しを実施。		閲覧数(トップページ)	203,565	
		閲覧数(全ページ)*	1,206,891	
		提供画像数	81,126	
		新規登録画像数	0	
3館合同蔵書検索システム (京都府図書館総合目録ネットワークへも連携)		閲覧数(トップページ)	191,265	
		閲覧数(全ページ)	3,312,134	
		検索数	285,052	
		詳細書誌閲覧数	2,024,257	
		京都学・歴彩館所蔵 (国立国会図書館サーチへも連携)	提供タイトル数	295,123
			新規登録タイトル数	3,109
CiNiiBooks (国立情報学研究所との連携)		提供タイトル数	20,048	
		新規登録タイトル数	4,994	
国書データベース(国文学研究資料館との連携) *2025年1月～12月分		提供タイトル数	1,304	
		うち閲覧されたタイトル数*	899	
		提供画像数	156,232	
		閲覧数(全ページ)*	50,860	
		新規登録タイトル数	373	
		新規登録画像数	17,458	
国立国会図書館 レファレンス協 同データベース	レファレンス事例	登録事例数	742	
		うち新規登録事例数	8	
		事例アクセス数	264,012	
	調べ方マニュアル	登録事例数	8	
		うち新規登録事例数	0	
		事例アクセス数	1,930	
X(旧Twitter)	全体	新規投稿数	232	

		インプレッション	311,797
		エンゲージ	17,294
		エンゲージ率	5.5%
	京都あれこれ (京都に関する資料の紹介・解説など)	新規投稿数	23
		インプレッション	32,071
		エンゲージ	2,401
		エンゲージ率	7.5%
	POPを使った所蔵資料の紹介	新規投稿数	35
		インプレッション	28,620
		エンゲージ	1,399
		エンゲージ率	4.9%
Facebook	全体	新規投稿数	221
		インプレッション	118,654
		エンゲージ	8,118
		エンゲージ率	6.8%
	京都あれこれ (京都に関する資料の紹介・解説など)	新規投稿数	21
		インプレッション	32,185
		エンゲージ	2,109
		エンゲージ率	6.6%
	POPを使った所蔵資料の紹介	新規投稿数	33
		インプレッション	9,050
		エンゲージ	520
		エンゲージ率	5.7%

令和7年4月1日～令和8年3月31日

* 統計項目の語句について

・インプレッション	投稿がユーザーの画面(タイムライン)に表示された回数
・エンゲージ	投稿に対して何かしらの反応(「いいね」や「RT(リツイート)」など)を示した回数
・エンゲージ率	エンゲージ数÷インプレッション数×100

17 施設の状況

○令和8年5月1日現在(京都学・歴彩館)

敷地面積	116,932.79 m ²	
建物面積	6,716.04 m ²	延 23,940.68 m ²
建設費	約100億円	
構造	鉄骨造 地上4階 地下2階	

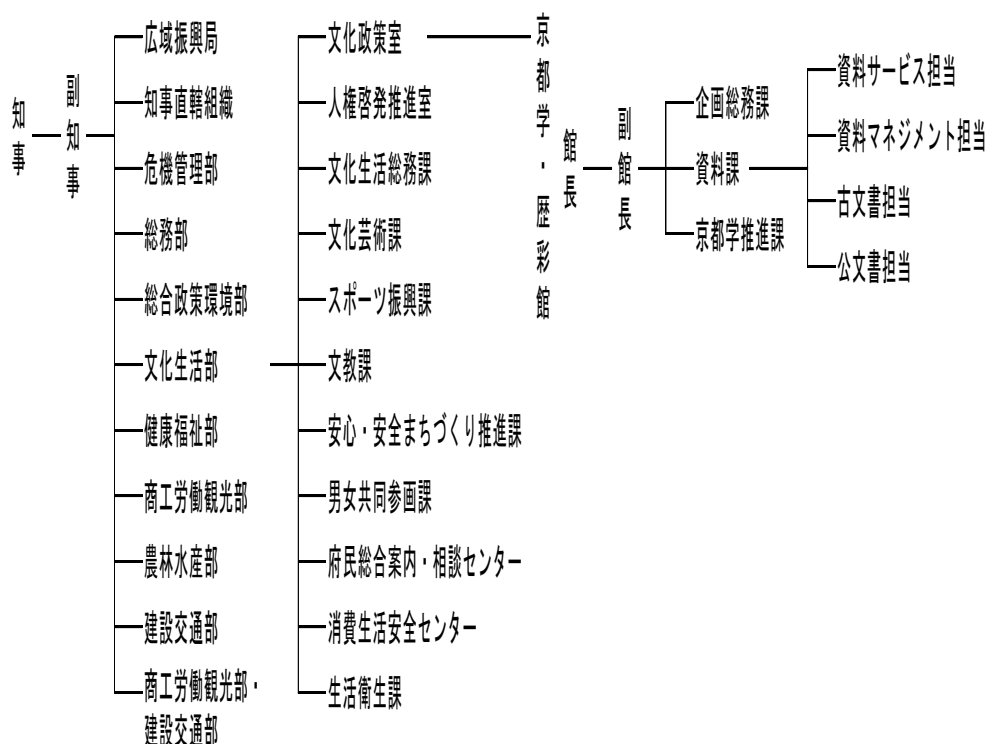
主要室の規模

1階	2階	地下1階	地下2階
学習室 160m ²	図書閲覧室 1,259m ² (開架書庫含)	書庫・収蔵庫 3,447m ²	書庫・収蔵庫 3,517m ²
展示室 290m ²			
大ホール 511m ²	府大閲覧室 2,012m ² (書庫含)	撮影室 73m ²	
小ホール 199m ²			
京都学ラウンジ 151m ²			
京都学研究室 142m ²			
府大書庫等 177m ²			

18 組織・職員数・業務分担・予算

(1) 組織

○令和8年5月1日現在



(2) 職員数

○令和8年5月1日現在(京都学・歴彩館)

	職 員(再任用を含む)	会計年度任用職員等
館 長	-	1
顧 問	-	1
副館長	1	-
企画総務課	4(※)	3(※)
資料課	24	15
京都学推進課	5	3
計	34	23

(※当館駐在職員含む。また、企画総務課長は、副館長と兼務のため、再掲していない。)

(3) 業務分担

ア 企画総務課

- 1 館運営等に関する事。
- 2 館発信事業の推進等に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 連絡調整に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 備品及び物品の調達及び保管に関する事。
- 7 財産の管理及び庁舎の管理に関する事。
- 8 (公財)京都文化財団への業務委託等に関する事。
- 9 その他庶務及び他課の所管に属さない事。
- 10 保安業務に関する事。

イ 資料課

- 1 各種資料の調査・選別・収集並びに整理・保存に関する事。
- 2 各種資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 各種資料の普及並びに他機関等との連携に関する事。
- 4 担当業務の総括及び関係機関との連絡調整に関する事。

ウ 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関する事。
- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関する事。
- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関する事。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関する事。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関する事。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関する事。
- 7 研究成果の発信及び交流事業に関する事。
- 8 府内自治体との共同による府域の文化の紹介に関する事。

(4) 予算状況(令和8年度当初予算)

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
一般活動費(京都学・歴彩館)	24,900	一般管理運営に要する経費
京都学・歴彩館資料保存活用事業費	65,956	
重要文化財京都府行政文書修理事業費	(3,414)	京都府行政文書の修理・補修費用
京都学・歴彩館展示室運営事業費	(2,517)	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
文化資料業務委託事業費	(60,025)	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
京都学・歴彩館統合情報システム運営費	38,537	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの運用
国際京都学活動推進事業費	8,060	京都の歴史、文化に関するセミナー、講座を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
計	137,453	

※管理費を除く

19 令和7年度の主な活動

- 7.4.12 令和7年度春季企画展「EXPO 1851→2025」開催(～6.8)
- 7.4.27 京都女子大学見学受入
- 7.5.2 京都芸術大学芸術学部歴史遺産学科見学受入
- 7.5.13 京都を学ぶセミナー「洛南編」第1回開催
- 7.5.14 文化生活部新採職員等研修見学受入
- 7.5.15 2階閲覧室利用状況調査(～5.21、11.13～11.19)
- 7.5.21 資料に親しむ会「活字になっている中世の古文書を読もう！」
- 7.5.25 同志社大学文学部見学受入
- 7.6.4 京都を学ぶセミナー「洛南編」第2回開催
- 7.6.7 京都先端科学大学人文学部見学受入
- 7.6.18 資料に親しむ会「暦の資料『日本長暦』を精読する。」
- 7.6.27 京都府立大学文学部授業対応
- 7.6.28 同志社大学文学部「文化史特論(7)(アーカイブズ概論)」見学受入
- 7.6.30 京都を学ぶセミナー「洛南編」第3回開催
- 7.6.30 京都大学「教育史演習Ⅲ」見学受入
- 7.7.8 京都府立大学文学部授業対応
- 7.7.8 京都市立椋原中学校見学受入
- 7.7.12 京都橘大学「古文書学BⅠ」見学受入
- 7.7.12 令和7年度京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「カタチとモヨウ デザイン 楽しむミュージアム」開催(～9.7)
- 7.7.15 日本古典籍講習会派遣(～7.19)
- 7.7.25 京都府立大学文学部授業対応

- 7. 7. 30 寺子屋講座「歴彩館でボードゲームを楽しもう！京都編」(8. 6)
- 7. 7. 30 こども茶の湯カレッジ「歴彩館でボードゲームを楽しもう！お茶文化編」(8. 6)
- 7. 8. 18 アーカイブズ研修Ⅰ派遣(～8. 22)
- 7. 8. 26 図書館実習生受入(同志社大学)(～8. 29)
- 7. 9. 3 日本名作映画上映会開催
- 7. 9. 8 蔵書整理期間のため2階休館(～6. 9. 12)
- 7. 9. 13 きょうとまるごとお茶の博覧会事業 令和7年度秋季特別展「大阪・関西万博記念
お茶博-TEA from KYOTO-」開催(～11. 9)
- 7. 9. 24 京都を学ぶセミナー「洛南編」第4回開催
- 7. 9. 「洛中の文化資源」共同研究会の報告書作成
- 7. 10. 15 資料に親しむ会「深掘り”琵琶湖疏水”」
- 7. 10. 21 堺市総務局行政部法制文書課見学受入
- 7. 10. 21 京都を学ぶセミナー「洛南編」第5回開催
- 7. 11. 8 京都精華大学国際文化学部見学対応
- 7. 11. 10 京都図書館大会館内見学受入
- 7. 11. 15 展示「京の鳥瞰図絵師 吉田初三郎 -没後70年によせて-」開催(～12. 7)
- 7. 11. 16 講演会「古典とともにいきる」で資料閲覧協力
- 7. 11. 19 資料に親しむ会「奥丹後の交通革命と峰山」
- 7. 11. 19 京都を学ぶセミナー「洛南編」第6回開催
- 7. 11. 21 国立国会図書館職員研修見学受入
- 7. 11. 22 立命館大学文学部地域観光学専攻資料閲覧受入
- 7. 11. 29 京都産業大学文化学部見学受入
- 7. 12. 7 第6回 国際研究集会「御所(宮殿)・邸宅造営関係資料の地脈と新天地」開催
- 7. 12. 9 日本名作映画上映会開催
- 7. 12. 13 展示「第八回 府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」開催(～7. 12. 27)
- 7. 12. 16 海外若手研究員による府民向けセミナー開催
- 7. 12. 17 資料に親しむ会「昭和ノスタルジア -昭和100年-」
- 8. 1. 9 京都府立大学文学部授業対応
- 8. 1. 15 京都ノートルダム女子大学見学受入
- 8. 1. 23 京都府立大学文学部授業対応
- 8. 2. 18 資料に親しむ会「旅と名所図会-大坂編」
- 8. 3. 2 ユネスコ世界の記憶担当課長ファクソン・バンダ氏視察受入
- 8. 3. 13 『京都学・歴彩館紀要』第9号 刊行
- 8. 2. 18 資料に親しむ会「旅と名所図会-大坂編」
- 8. 3. 18 資料に親しむ会「赤穂浪士と岩屋寺」
- 8. 3. 27 北山エリアを「e-Palette(イーパレット)」で賑わい創出連携企画「お茶文化のボード
ゲームを楽しもう！」
- 8. 3. 31 『京都を学ぶ【洛中編】』刊行

20 沿革

【(旧)総合資料館】

昭和34.	34年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6	「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8	起工式
37. 11. 10	定礎式
38. 10. 28	設置条例制定・施行(京都府立総合資料館条例・昭和38年条例第29号)
38. 11. 15	開館式及び祝賀会を挙行。翌16日から閲覧業務等開始(庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3部9係)
39. 2. 21	文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1	機構改革(係を課とし、3部9課)
39. 11. 14	「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4	京都府開庁100年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6	民謡調査を開始
42. 8. 11	「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23	京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置(3部1室9課)
43. 11	昔話調査を開始
45. 4	『京都新聞』(明治18年～昭和44年)のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6	「古文書講習会」を開始
45. 8. 11	「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編(庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の3部1室5課)
45. 9. 22	「館蔵品陳列場」(現・2階展示室)を開設
45. 12	資料の寄託制度を開始
46. 1. 1	『資料館だより』創刊
46. 6	新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15	第2収蔵庫完成(鉄筋コンクリート2階建 延274.76㎡)
46. 7	『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31	『資料館紀要』創刊
47. 6. 1	京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置(3部6課)
48. 3. 30	第3収蔵庫完成(鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡)
48. 6. 16	部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。(庶務課(庶務係、経理係)、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係)
48. 11. 15	開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
48. 12	東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
49. 4	有形民俗資料調査を開始

49. 8	教科書を収集
51. 1	「京の百景」を受入れ
51. 5. 26	組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、 歴史資料課の4課2係）
51. 1	視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
52. 3	府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
52. 4	古文書の公開を開始
52. 1	古文書所在情報調査を開始
53. 3	府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
55. 1	「東寺百合文書」の公開を開始
55. 4	「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
55. 6. 6	「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
56. 4	近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
56. 6. 9	「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
56. 9. 10	第1回「古文書教室」を開催
57. 4	古文書センター推進事業に着手
57. 7. 4	大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を 休室日とする。
58. 4	「東寺百合文書」の第2次修理を開始
58. 4. 19	「軽読書室」を閉鎖
58. 5. 18	「京都府行政情報資料センター」を開設 大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
58. 10. 14	開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
59. 4. 1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
59. 4. 14	「革嶋家文書」及び「袈裟襴文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
60. 5. 16	府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
61. 7. 1	国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
62. 5. 12	「古文書相談」を開始
63. 3. 29	美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化 博物館（昭和63年10月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、 総合資料館条例一部改正条例（昭和63年条例第3号）を制定公布
63. 4. 14	ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
63. 4. 18	文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の3課2係） 美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都 文化財団に委託
63. 9. 30	京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止 「京都府行政情報資料センター」を廃止
63. 10. 1	京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
平成元. 4	貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始 廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
元. 10. 20	第1回「文化講座」を開催
2. 10. 8	古文書のマイクロフィルム公開を開始
3. 5	明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始

4. 4. 1	日本図書館協会に再加入
4. 7. 1	京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
5. 4. 1	定例休館日を毎月20日から毎月第2水曜日に変更
5. 5. 20	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
5. 11. 7	開館30周年記念事業「北山まつり」を開催
6. 6. 4	「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
9. 4	京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
9. 6. 30	「東寺百合文書」が国宝に指定される
10. 3. 31	「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
10. 12	閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
11. 4	京都府20世紀歴史資料保存事業を開始
12. 4	京都府20世紀資料整理事業を開始
12. 9. 30	「特別資料室」を閉鎖
12. 10. 1	京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
12. 12. 28	文書閲覧室を含め全館休館
13. 3. 23	「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される
13. 5. 11	京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
13. 7. 2	京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
13. 10. 9	国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
14. 5. 23	「総合資料館府民講座」を開始
14. 6. 26	「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
14. 7. 19	ホームページを開設
14. 11. 26	「古文書解読講座」を開始
14. 12	「京の文化振興プラン(その1)-京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策-」策定
15. 5. 29	「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
15. 11. 15	開館40周年を迎える
16. 3. 25	東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
16. 4. 1	「総合資料館所蔵資料データベース-京都北山アーカイブズ-」の公開開始
19. 12	総合資料館あり方検討プラン策定
21. 1	総合資料館基本構想(案)取りまとめ
21. 3. 24	古久保家文書が府指定有形文化財に指定
21. 3. 27	府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
21. 8. 25	「古文書入門教室」を開始
21. 9. 10	「歴史資料カレッジ」を開始
21. 10	北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
21. 10. 17 ～11. 26	植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開催
22. 5	「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表

- 23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
- 23. 7. 22 京都府新総合資料館(仮称)公募型設計競技第1次審査の結果公表
- 23. 10. 14 京都府新総合資料館(仮称)公募型設計競技の結果公表
- 23. 11. 16～22 新資料館設計協議結果展
- 24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究(ACTR)を開始
- 24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
- 24. 12 新総合資料館(仮称)建築工事の実施設計を策定
- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館(仮称)建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館50周年を迎える
- 25. 11. 16 開館50周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ提出
- 26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定
- 26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27. 8. 1 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究の開始
- 27. 10. 10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27. 11. 10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27. 11. 12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28. 7. 8 京都府新総合資料館(仮称)棟 引渡
- 28. 9. 13 京都府立総合資料館 閉館

【京都学・歴彩館】

- 28. 12. 11 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン
- 29. 1. 27 「京都を学ぶセミナー」を開始
- 29. 2 公益財団法人 陽明文庫所蔵資料のデジタル画像の収集及び館内公開に関する覚書締結
- 29. 4. 28 京都府立京都学・歴彩館 グランドオープン
陽明文庫デジタル画像閲覧を開始
- 29. 7～ 海外若手研究員に係る世界の主要な日本文化研究機関との連携及び覚書締結開始(平29年度中に計7(海外4・国内3)機関と締結)
- 29. 7. 6 「京都学ラウンジミニ講座」を開始
- 29. 12～ 京都学・歴彩館への京都府立大学文学部移転
- 29. 12. 6 「古文書ヨル学会-入門編-」を開始
- 29. 12. 12 「資料に親しむ会」を開始
- 30. 1. 9 海外若手研究員 受入開始
- 30. 2. 16 「海外若手研究員による府民向けセミナー」を開始

- 30. 5. 25 「京都の出版社に聞く」を開始
- 30. 10. 1 京都学ラウンジ倶楽部の発足
- 30. 11. 10 「陽明文庫講座」を開始
- 30. 12. 4 独立行政法人国際交流基金京都支部と共催の日本名作映画上映会を開始
- 31. 3. 23 京都府文化賞受賞記念の公演等開始
- 31. 4. 1 人間文化研究機構総合地球環境学研究所との学術交流・協力に関する基本
協定書の締結
- 令和元. 6. 1
- 2. 4. 1 一部指定管理者制度を導入
- 2. 4. 1 北山プロムナード供用開始
- 2. 8. 24 文部科学大臣から科学研究費補助金取扱規程第2条に規定する研究機関と
して指定される【登録機関の名称: 京都府立京都学・歴彩館(京都学推進課)】
- 3. 1. 1 国立公文書館による認証アーキビスト制度創設により、職員4名が認証をうけ
る。
- 3. 5. 13 賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開の覚書締結
- 4. 4. 1 ほっとスペース リニューアルオープン
- 6. 10. 4 秋篠宮皇嗣同妃両殿下行啓、令和6年度特別展京都府立植物園開園100周年
記念「植物園のはじまりと100年の森」台覧、金田館長進講

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧(令和8年3月31日現在)

No.	種 別	資 料 名	点数等	概 要
1	国宝 (平9. 6. 30 指定) ユネスコ 「世界の記憶」 (平27. 10. 10 登録)	東寺百合文書	※ 18, 646点	京都市南区の東寺(教王護国寺)に伝えられた 文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約 1, 000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世 史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を 目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭56. 6. 9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった 中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料 です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しま した。
3	重要文化財 (平14. 6. 26 指定)	京都府行政文書	15, 407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた 京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応 3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の 政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15. 5. 29 指定)	革嶋家文書	2, 459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書 で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたも の。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ 文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43. 4. 25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1 点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・ 池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人 池大雅美術館(佐々木もと子館長)から京都府に 寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、 関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59. 4. 14 指定)	袈裟襷文銅鐸	4 口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成 工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京 都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」 の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値 の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21. 3. 24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代 を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代 は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との 間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番 所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18, 705点のうち、国宝が18, 646点、重要文化財が57点(東寺観智院伝来文書典籍類)、未指定が2点。

京都府立京都学・歴彩館資料収集方針

令和2年4月1日

京都に関する資料等を収集し、保存し、及び公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため、以下の収集方針を定める。

収集した資料は、適切な保存環境のもとで永年保存し、後世に伝える。また、収集した資料を利用に供し、デジタル化をはじめとする媒体変換等の手段を講じる。

なお、行政文書の移管又は引渡しなどは、別の規程等による。

I 図書資料等収集方針

1 基本方針

京都に関する専門図書館機能を十分に発揮するために必要な資料を収集する。資料の収集は、購入及び寄贈等による。非市販資料も対象とする。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

① 京都に関する資料

ア 現在の京都府の行政区域内に関する内容を含む資料を網羅的に収集する。

イ 「京都府文書の保管、保存等に関する規程」に基づき当館に送付される資料をはじめとする京都府が発行する資料を収集する。

ウ 京都府内の自治体が発行する資料を収集する。

エ 京都府内の団体や個人が発行する資料について、収集に努める。

② 京都に関する調査研究に必要な資料

ア 京都の位置づけを理解するために必要な資料を収集する。

イ 所蔵する図書資料・古典籍・古文書・公文書等について理解するために必要な資料及び館の運営に必要な資料を選択的に収集する。

ウ 古典籍は、資料の来歴も考慮して選択的に収集する。

エ 収集にあたっては、京都府立大学附属図書館及び京都府立図書館蔵書に留意する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

ア 図書

イ 雑誌・新聞及びフリーペーパー

ウ 近世以前の古典籍、漢籍等の古書

エ その他必要な資料

II 古文書収集方針

1 基本方針

地域の記憶となる京都に関する歴史資料を収集する。原本の受入は寄附・購入を基本とする。寄託は原則受けない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 幕府・藩・公家・寺社等の領主、大庄屋等の文書、仲間間(同業組合)文書、組合・会社文書等、広範な地域・組織に関わる文書を収集する。

イ 町文書・村文書など市町村が収集した方が適当と思われる資料は市町村と調整する。

ウ 個人的な資料(私的書状・書類・日記等)は基本的に収集対象としないが、京都の歴史に関わると評価できる場合は収集する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

原本の受入だけでなく、複製物(画像・写真等)での収集を行う。

III 写真資料等収集方針

1 基本方針

京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料を収集する。芸術性を追求した作家の作品は収集しない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 京都の社寺・名所・祭礼・風俗・街並み・建物・風景・人物・事件等を撮影したもので、京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

イ 日本の歴史的な風景・資料等で特に記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

希少性が高いガラス乾板を中心として収集する。

業 務 概 要

—令和 7 年度のまとめ—

発 行 日 令和 8 年 8 月

編集・発行 京都府立京都学・歴彩館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 1-29

電 話 075-723-4831

F A X 075-791-9466

H P <http://www.pref.kyoto.jp/rekisaikan/index.html>

E-mail rekisaikan-kikaku@pref.kyoto.lg.jp